

4. 区長アンケート調査の結果

4.1. 調査の目的

地区代表者（市内の全自治会の区長）に対し、アンケート調査を実施し、現況のコミュニティの状況、地域資源、生活不安、また、今後の土地利用の対する要望等について調査することで、**地区の実態を把握し、今後、望まれる土地利用施策**を検討するための基礎資料とする。

4.2. 調査の概要

(1) 対象者

小城市内の全自治会の区長

(2) 配布方法

平成 24 年 4 月 26 日に実施される区長連絡協議会において、区長アンケート調査についての概要、回収の期限及び方法等について説明を行ったうえで、5 月 2 日に各区長へアンケート調査用紙及び返信用封筒を配布する。

(3) 回収方法

アンケート調査票に返送用封筒を同封し、小城市役所への郵送により回収する。
その後、集計・整理を実施する。

(4) 実施時期

配布：平成 24 年 5 月 2 日（水）

回収：平成 24 年 5 月 21 日（月）

(5) 調査票

4.4ページ以降参照

(6) 集計する際の視点

区長アンケート結果の集計は、8小学校区別の傾向が把握できるようにすることを基本とする。

表 4-1 集計区分 1

配布数	回収数	回収率
181	174	96.1%

また、集落の小規模化や高齢化とコミュニティ機能の関係性を把握する目的から、集落の世帯数と高齢化率によって、図 4-1及び

表 4-2に示す4つのカテゴリに区分し、カテゴリ別の傾向を把握する。

—(補足)閾値について

○集落の世帯数：65 世帯

集落がまとまりを持って地域活動をする理想的な戸数は、50 世帯～80 世帯とする見解がある（農村計画研究連絡会：中山間地域研究の展開、養賢堂、1998 年）ことから、集落の維持が難しくなる集落世帯規模をその平均値の 65 世帯を閾値とした。

○集落の高齢化率：30%

カテゴリ A～D のいずれかのサンプル数が極端に少なくなる値として 30%を閾値とした。（目安：いずれのカテゴリも全体数の 10 分の 1 以上のサンプル数を確保する。）

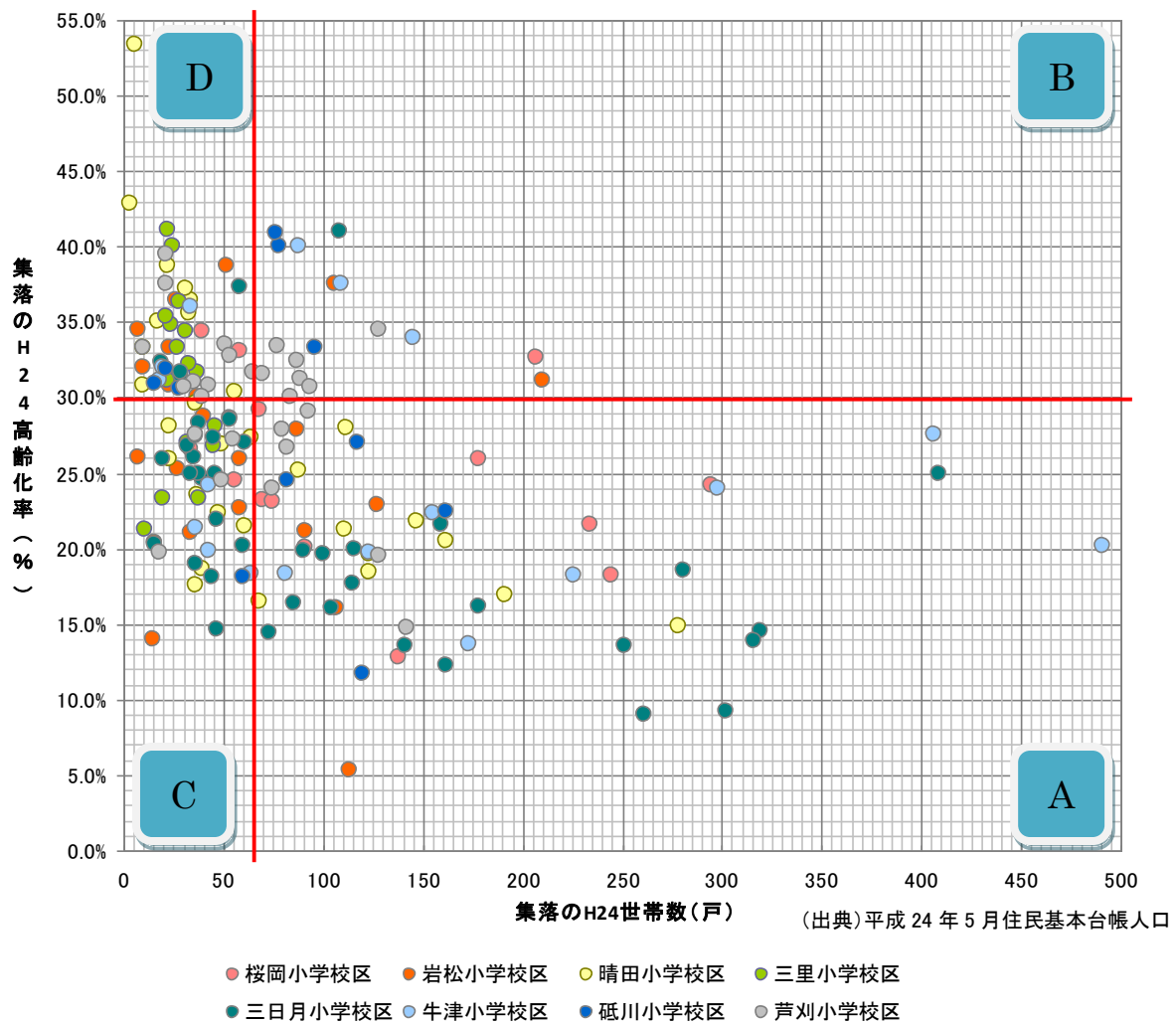


表 4-2 集計区分 2

カテゴリ	集落の特性	条件	配布数	回収数	回収率
カテゴリ A	大規模	世帯数 65 世帯以上、 高齢化率 30%未満	60	59	98.3%
カテゴリ B	大規模・高齢化	世帯数 65 世帯以上、 高齢化率 30%以上	18	17	94.4%
カテゴリ C	小規模	世帯数 65 世帯未満、 高齢化率 30%未満	54	52	96.3%
カテゴリ D	小規模・高齢化	世帯数 65 世帯未満、 高齢化率 30%以上	49	46	93.9%
小城市			181	174	96.1%

(2012 年 6 月 26 日時点)

小城市 区長アンケート調査票

【アンケート調査へのご協力をお願い】

平素より、まちづくり行政に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

小城市では、今後の人口減少・少子高齢化時代の到来を鑑み、限られた事業予算の中で、市全域において一体的かつ効率的な土地利用を推進することを目的とした「小城市土地利用方針」の策定に向けて、現在、調査・検討を進めているところでございます。

そこで、小城市では、**守るべき地域資源や地域振興のあり方について検討**するため、区長様へアンケート調査を行うことといたしました。つきましては、お忙しい中、誠に恐れ入りますが、本アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

ご提供いただきますお住まい等の個人情報、個人情報保護法に基づき、厳正かつ適正に保存・管理し、目的以外に使用することはありません。趣旨をご理解頂き、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【回答期限・返送方法】

- ・ 回答期限は平成24年5月21日（月）です。（消印有効）
- ・ 期限までに、返送用封筒に本アンケートを入れ、お近くの郵便ポストに投函してください。

【お問い合わせ先】

小城市 建設部
都市整備推進室（芦刈庁舎1階）
TEL : 0952-63-8826
FAX : 0952-63-8828
担当 : 田中、南里

I. はじめにお答え下さい。

自治会名	
区長の ふりがな ご氏名	
お電話番号	
ご住所	

Ⅱ. 集落内の資源についてお答え下さい。

質問1 集落内もしくは近隣に、あまり人に知られてはいないが地域として誇るべき資源（風景、自然林、湧水、清流、寺社・ほこら等）がありましたら、お聞かせ下さい。（いくつでも）

資源名称	特 徴
_____	_____
_____	_____
_____	_____

質問2 集落内もしくは近隣に、今後活用可能な資源（遊休地、耕作放棄地、空き家、廃校、管理されない共有林等）がありましたら、お聞かせ下さい。（いくつでも）

資源名称	特 徴
_____	_____
_____	_____
_____	_____

質問3 子孫に伝え、残したい伝統・文化や芸能、風習などがありましたら、お聞かせください。（いくつでも）

伝統・文化や芸能、風習の名称	特 徴
_____	_____
_____	_____
_____	_____

Ⅲ. 集落の活動についてお答え下さい。

質問4 集落の中で、集落の問題や今後のことなどについて話し合う会合や寄合をどのくらいの頻度で行われていますか。
《以下の選択肢から最も近いものを1つ選び、○をしてください》

- ① 月に1回程度
- ② 年に数回程度 (年 回)
- ③ ほとんど行われていない

質問5 集落の中で、地域の維持管理活動(草刈等)をどのくらいの頻度で行われていますか。
《以下の選択肢から最も近いものを1つ選び、○をしてください》

- ① 月に1回程度
- ② 年に数回程度 (年 回)
- ③ ほとんど行われていない

質問6 集落の中で、地域行事(祭り等)をどのくらいの頻度で行われていますか。
《以下の選択肢から最も近いものを1つ選び、○をしてください》

- ① 月に1回程度
- ② 年に数回程度 (年 回)
- ③ ほとんど行われていない

IV. 集落の今後（将来）についてお答え下さい。

質問7 現在お住まいの集落への、今後の居住意向についてお聞かせください。
 《以下の選択肢から最も近いものを1つ選び、○をしてください》
 《あなた個人のご意見としてお答え頂いて結構です》

- ① 今後とも住み続けたい
- ② 状況によっては離れざるをえない
- ③ 近い将来、子供たちのところなど、集落を離れるつもりである
- ④ その他（具体的に： _____ ）

質問8 居住を継続する上での不安は何ですか。
 《各項目で、1～4のあてはまるものにそれぞれ1つに○をして下さい》
 《また、その中で特に不安に感じられる項目3つに○をして下さい》
 《あなた個人のご意見としてお答え頂いて結構です》

	大いに不安	不安	やや不安	不安は感じない	不安に感じる 上位3つに○
1) 日用品・食料品の買い物ができる店が遠い	1	2	3	4	
2) 近くに働く場が無くなってきている	1	2	3	4	
3) 山林、田畑の管理がままならなくなってきている	1	2	3	4	
4) 医療施設が遠い（医療サービスを受けにくい）	1	2	3	4	
5) 福祉施設が遠い（福祉サービスを受けにくい）	1	2	3	4	
6) 郵便局や農協が近くになく、預貯金のお出し入れが困難	1	2	3	4	
7) 狭い道路が多く、安全面や防犯面で問題がある	1	2	3	4	
8) 日常の移動手段がなくなってきている	1	2	3	4	
9) 土砂崩れ、崖崩れ等の発生の危険性が高い場所がある	1	2	3	4	
10) 災害時の避難活動が困難になってきている	1	2	3	4	
11) 災害により集落が孤立する	1	2	3	4	
12) 隣近所の付き合いが減ってきている	1	2	3	4	
13) 地域行事を営むことができなくなってきている	1	2	3	4	
14) 共同作業を営むことができなくなってきている	1	2	3	4	
15) 鳥獣被害等が増加している	1	2	3	4	
16) その他（具体的に： _____ ）	1	2	3	4	

図 4-5 区長アンケート調査票 (4/5)

質問 9 今後、あなたの集落内で必要な「土地利用や施設整備面での施策」は何と考えられますか。以下の選択肢から最大で3つ選び、○をしてください。また、選択肢以外にご意見がある場合、ページ下の自由記入欄にご記入下さい。

《あなた個人のご意見としてお答え頂いて結構です》

- ① 日用品や食料品の買物ができる身近な店舗を誘致する。
- ② 工場や会社などの職場を誘致する。
- ③ 住宅地開発の誘導又は公営住宅の整備を推進する。
- ④ 居住環境を維持・向上させるため、土地利用のルールを決める。
- ⑤ 空き家を有効に活用し、集落の魅力を向上させる。
- ⑥ 優良な農地の保全や、耕作放棄地の対策を推進する。
- ⑦ 地域住民が集える公園や公民館などを整備する。
- ⑧ 身近な生活道路を拡幅するなど、道路環境を整える。
- ⑨ 公共下水道や合併処理浄化槽等を整備し、生活排水処理の環境を整える。
- ⑩ 集落内に災害時に危険な場所があるため、災害対策を強化する。
- ⑪ 特に対策は必要ない。

～自由記入欄～

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

4.3. 区長アンケート調査結果のまとめ

(1) 集落内の資源について

質問1 集落内もしくは近隣に、あまり人に知られてはいないが地域として誇るべき資源（風景、自然林、湧水、清流、寺社・ほこら等）がありましたら、お聞かせ下さい。（いくつでも）

集落内もしくは近隣に、あまり人に知られてはいないが地域として誇るべき資源（風景、自然林、湧水、清流、自社・ほこら等）について尋ねたところ、「1つ」あると回答した集落は36集落、「2つ」が10集落、「3つ」が9集落、「4つ」が1集落となっている。「なし」と回答した集落は118集落と最も多くなっている。

資源の内容をみると、**全体としての傾向として、神社や寺を回答する割合が高い。**

地区別の傾向が現れているものとして、**岩松地区では、「湧水」、「源氏ポタルの生息地」といった自然資源の割合が他地区よりも高い。**

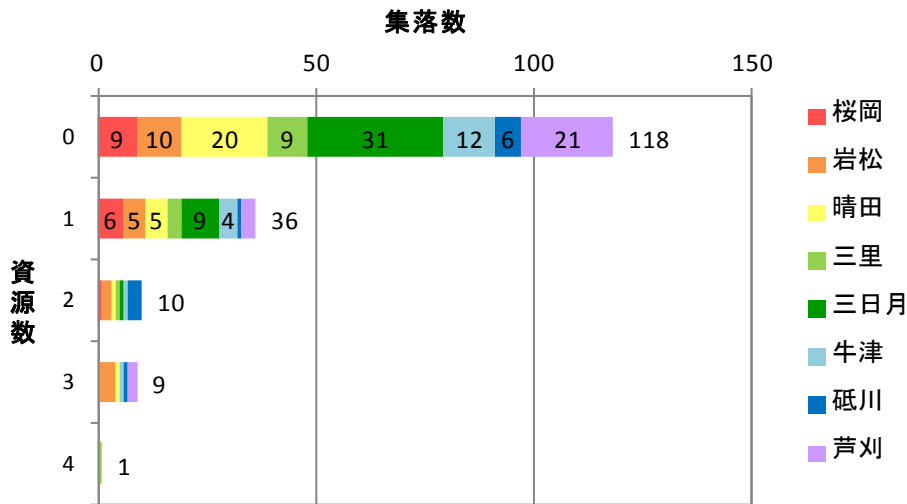


図 4-7 集落内の資源数 N=174

表 4-3 地域として誇るべき資源

小学校区名	集落名	資源
桜岡	上町	楠の大木
	布施ヶ里	布施公民館横の川
	下町	子安の観音様 乙吉神社
	蛭子町	恵美須神社
	岡町	大日社
	小城本町	藩校興讓館跡
	不二町	サヤノ神さん
岩松	焼山	八天神社 八天岳
	吉田	千葉城址 本城地跡（通称：吉田山） 金比羅社 円明寺（大般若経経文）
	三間寺	圓通寺
	住吉町	甘露水（江里山） 天山神社 弁天様 石体の一枚岩のご神体
	松尾	西谷湧水地
	二瀬川	イノシシの供養塔 正一大明神 弘法大師様

小学校区名	集落名	資源
	馬場	清水堀
	松本	源氏ボタルの生息地
	江里山	湧水 銘木
	石体	農村公園 不動の滝 石体観音堂、権現堂
	城栄町	農業用水路
晴田	平原	えいしょう庵
	鷺ノ原	祥光山星巖寺 楼門、五百羅漢 小城鍋島家墓所
	寺浦	寺浦廃寺
	円光寺	薬師堂
	出分	注連森（しめもり）
	米隈	天神様（鳥居）
	桑鶴	佐賀平野の風景 八丁ダム
三里	小隈	天満神社
	山崎	観音様
	上右原	鏡神社 肥前鳥居 樋口観音堂、八籠観音堂 鏡籠弁財天
	下右原	丹坂峠古墳 丹坂峠古戦場跡
	門前	山岳寺 阿弥陀如来像
三日月	道辺	宇佐神社 観音堂
	堀江	淀姫宮の楠
	深町	祇園側堤防
	久本	地の目
	社	長栄寺
	高田	日吉神社
	仁俣	東仁俣の天満宮
	土生	土生遺跡
	本告	湧水（通称：ショウズ）
	甲柳原	甲柳原天満宮の楠
	牛津	新町
天満町		天満神社 空き地（天満町国地東南（約70坪）通称：天満町19班）
江津		西宮神社
乙柳		持永城跡（地元では「山城」と呼ばれている） 清泉寺 清泉寺内の観音像
江津ヶ里		天満神社
西江津		工場
砥川	砥川町	正一信稚の森稻荷大名神 湊槃像
	泉	八幡神社 三菱マテリアル跡地 八幡神社の祭礼（秋期祭礼）
	谷	常福寺 日本山妙法寺（肥前御仏舎利道場）
	内砥川	石工の里の東側に区で管理している祭りをしている五穀神社
	柳鶴	荒神様（祠） 天神様（祠）
芦刈	中溝	二宮神社
	永田東北	沖神社 お地藏さん あわしまさん
	永田南	沖神社 お地藏さん あわしまさん
	六丁	牛津川堤防六丁～
	住の江東	搦の名称

質問2 集落内もしくは近隣に、今後活用可能な資源（遊休地、耕作放棄地、空き家、廃校、管理されない共有林等）がありましたら、お聞かせ下さい。（いくつでも）

集落内もしくは近隣に、今後活用可能な資源（遊休地、耕作放棄地、空き家、廃校、管理されない共有林等）について尋ねたところ、「1つ」あると回答した集落は22集落、「2つ」あると回答した集落は5集落となり、「なし（0）」と回答した集落は147集落と最も多くなっている。

内容をみると、**全体としての傾向として、空き家を回答する割合が高く**、回答のあった27集落のうち10集落（37%）で空き家と回答している。そのほか、旧川内分校跡（晴田）、保育園跡（牛津）といった**跡地や耕作放棄地**（晴田、三日月）の回答が得られている。

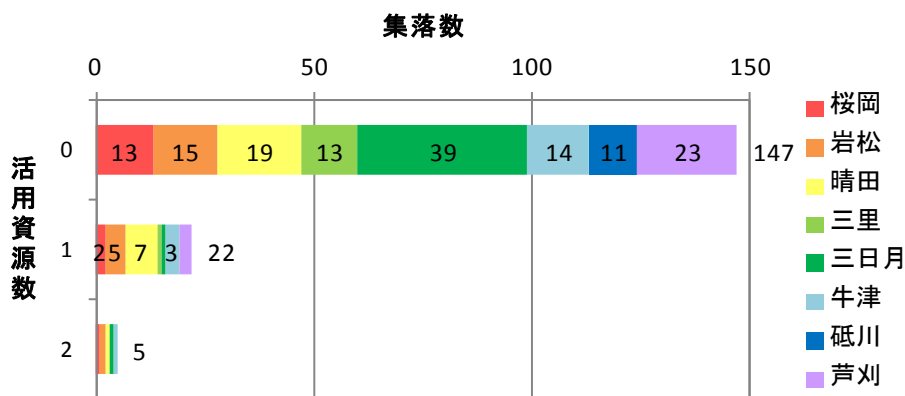


図 4-8 集落内の活用資源数

N=174

表 4-4 活用可能な資源

小学校区名	集落名	資源
桜岡	下町	空き家 空き地
	蛭子町	空き家 (蛭子町公民館横)
	小城本町	空き家 (多数)
岩松	吉田	吉田山
	二瀬川	水田、畑
	大塚	耕作放棄地
	馬場	空き家
	石体	荒谷川、棚田 耕作放棄地
	城栄町	うら山(西側)
	晴田	砂田
晴田	畑田	安心溜池
	平原	共有林
	鷺ノ原	祥光山、広場
	松葉	耕作放棄地
	君ヶ坂	空き家
	出分	旧北島邸空地 旧丸山邸空地
	桑鶴	旧川内分校跡
	三里	上右原
三日月	岡本	耕作放棄地
	樋口	ため池 水路
牛津	江津	津の里公園
	柿樋瀬	遊休地 (保育園跡)
	前満江	空き家
	西江津	空き家 遊休地
芦刈	永田東北	廃屋・1 軒
	永田南	廃屋・2 軒
	住の江東	空き家

質問3 子孫に伝え、残したい伝統・文化や芸能、風習などがありましたら、お聞かせください。(いくつでも)

子孫に伝え、残したい伝統・文化や芸能、風習などについて尋ねたところ、「1つ」と回答した集落は37集落、「2つ」が10集落、「3つ」が10集落、「4つ」が4集落、「5つ」が1集落、「10」が1集落となっている。「なし」と回答した集落は111集落と最も多くなっている。

残したい資源、活用できる資源(質問1・2)と比較した場合、残したい伝統・文化があると回答した集落の割合は高く、**集落としての個性を守るための重要な要素**であると考えられる。

内容をみると、**全体としての傾向として、祭り関連を回答する割合が高く**、そのほか、火付け、もぐら打ちといった回答が比較的多くみられる。

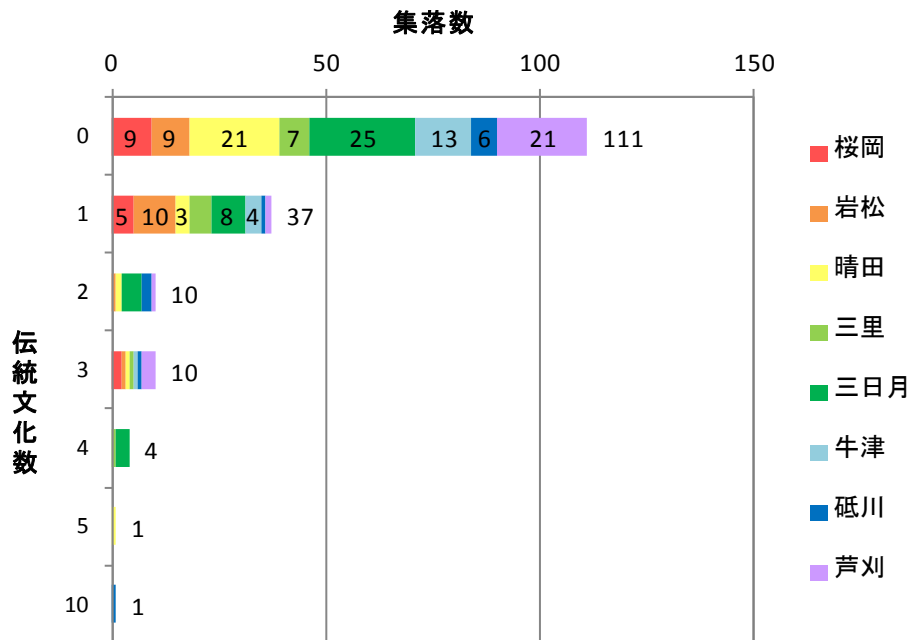


図 4-9 集落内の伝統文化数

N=174

表 4-5 残したい伝統文化

小学校区名	集落名	資源
桜岡	上町	山曳祇園
	中町	山曳祇園祭 天神様 戒様 お地藏様
	下町	祇園祭
	正徳町	天満宮お下り祭り 天満宮夏祭り 天満宮しめ縄祭り
	大手町	大般若祭
	小城本町	シャンシャン祭り (神輿)
	北小路	ごらくまつり
岩松	清水	清水地区浮立
	原田	大般若経初祭
	焼山	八天神社1月のお祭り
	吉田	正月 大般若経会
	三間寺	諏訪神社の初祭り
	住吉町	千葉宗胤市の墓 天山神社の天井板
	永泉寺	6年に1回の天山神社秋祭りの浮立行事
	二瀬川	正一大明神、天神様 火付け
	江里口	浮立
	松本	天衝舞
	江里山	夏祭り
	石体	草野公供養 (唐津市、功岳寺) 山の神おこもり 村祈祷
	晴田	畑田
西谷		浮立
本山		天山供日
松葉		火付け 鬼火たき
黒原		晴気天山社の浮立
米隈		大黒様、天神様 大日様 巴の日籠り 地藏様 (火付け、夏祭り) 天神様、しめ縄作り
三里		峰
小隈	おくんち	
坂井	天満宮初祭り (1月) 英彦山参詣 (4月) 村祈祷 (1月、5月、9月) 八天神社 (1月)、天山神社 (8月) 参詣	
山崎	浮立	
上右原	百寺祭り 灯つけ しめ縄作り	
小島	牛尾神社の浮立	
船田	浮立	
三日月	東分	竜王舞
	立物	弓矢祭り おこもり 村祈祷 天満宮秋祭り
	三ヶ島	星祭り 御祈祷 天満宮に氏子たちが洋服を持参し、無病息災、五穀豊穰、家内安全等祈願してもらう。 8月20日 檀家が飢餓・災害等で苦しむことがないように供養してもらう。
	深町	妙見社の灯付け祭り
	島溝	もぐら打ち 火付け
	四条	もぐら打ち
	久本	村祈祷 百手祭
	江利	8月灯付 魚釣り大会その後焼き肉会
	五条	天満神社のひつけ祭 大神宮祭
	大寺	ほんげんぎょう「鬼火たき」 天満宮初祭 大日さんおこもり弁財天おこもり 観音様、天神様、毘沙門様
	仁俣	東観音、西お大師さん、疫神さん祭りが毎年 8/23 に行われる (12/23 も同様の祭り)
	甘木	8/25 甘木天満宮夏祭り (子供みこし)
	久米	灯つけ
	吉原	灯付け 巖島神社のお祭り
	石木	もぐら打ち
	甲柳原	甲柳原面浮立

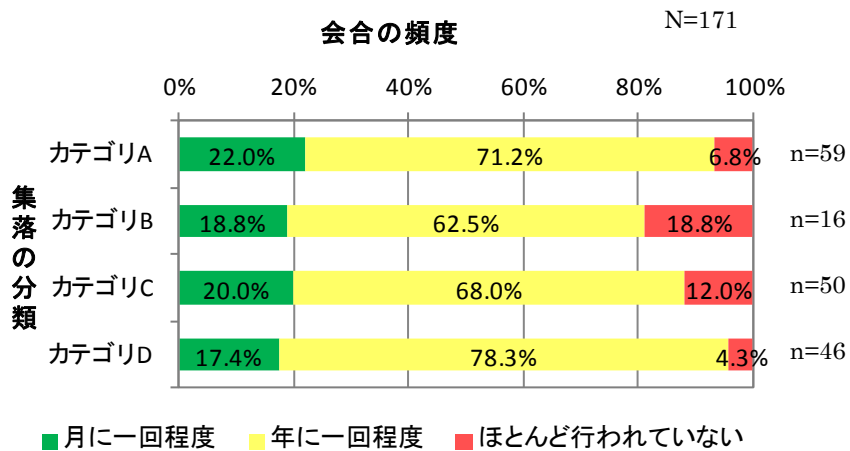
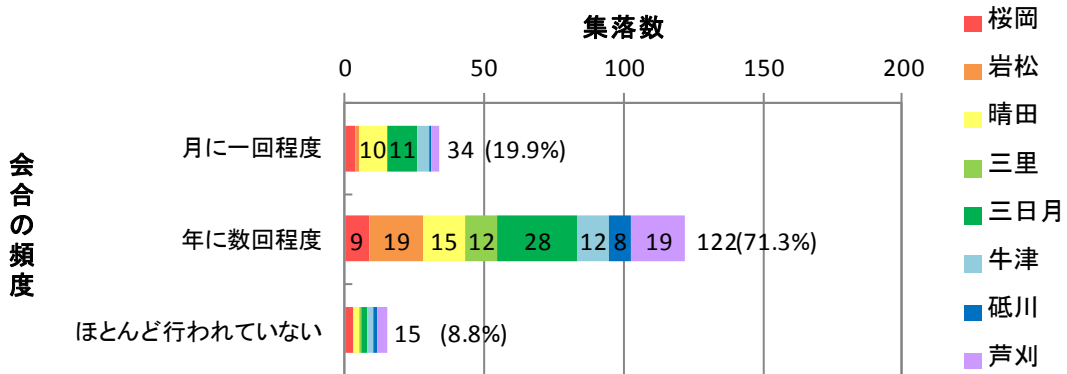
小学校区名	集落名	資源
牛津	新町	西宮神社春祭り
	柿樋瀬	太鼓浮立
	乙柳	若宮神社の維持管理 夏祭り（「火付け」という）、大祭り、百手（ももて）祭り（「お火たき」という） 村祈祷
	江津ヶ里	火付け
	前満江	牛尾神社
砥川	両新村	太鼓浮立
	谷	谷青少年浮立保存会 弁財天祭
	内砥川	盆網ひき 鉦浮立保存会
	寺町	春の山登り お観音さん祭り お地藏さん祭り 風籠もり 秋のおくんち 秋祭り やっささん祭り 八幡社鳥居横祭り 恵比寿大明神 天神さん祭り 村祈祷祭り
	永田	山登り 夏祭り 浮立太鼓
芦刈	東戸崎	おこもり
	永田東北	面浮立 沖ノ島太鼓浮立 棒作り
	永田南	面浮立 沖ノ島参り太鼓浮立 棒使い
	六丁	沖の島参り 6丁新地踊り 灯籠付け祭り
	住の江東	搦 龍王籠

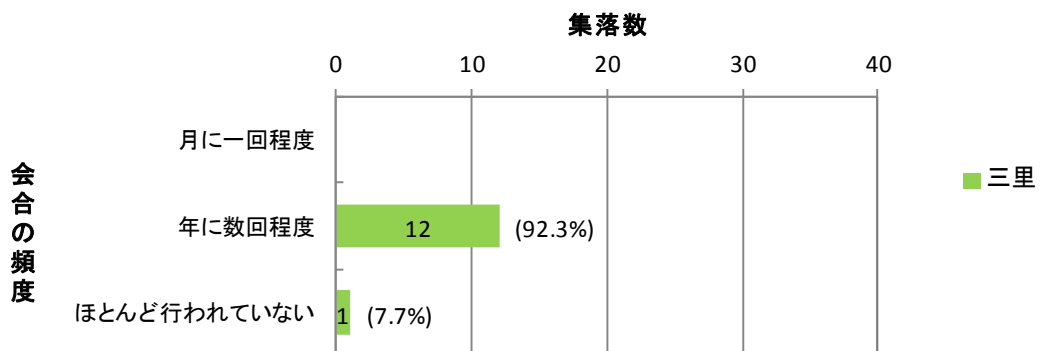
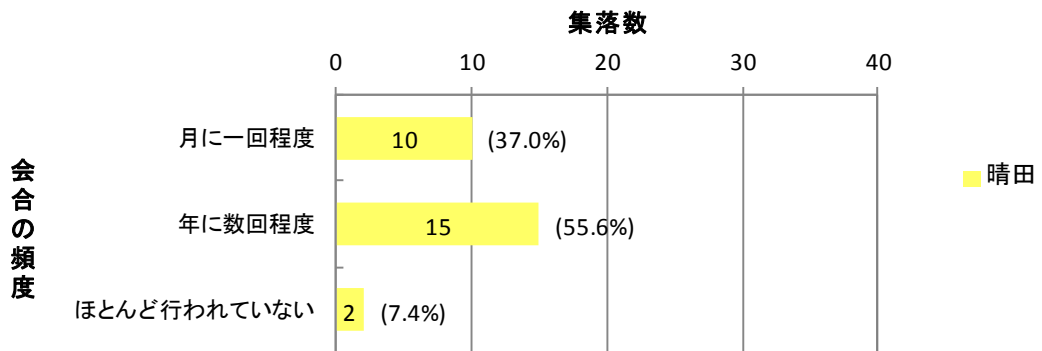
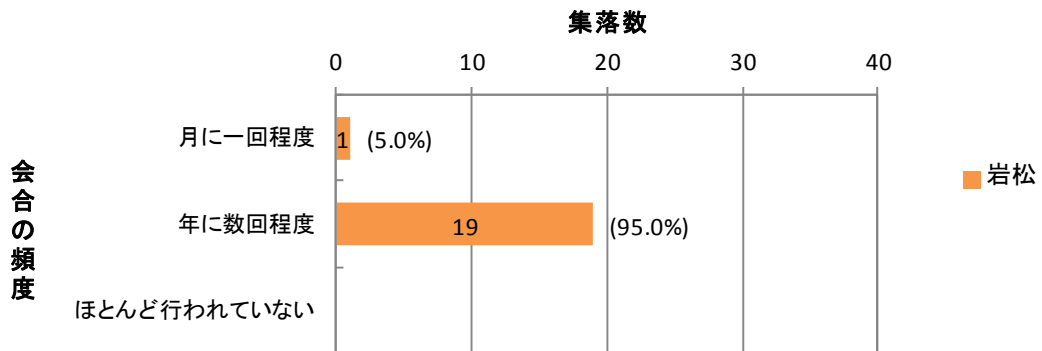
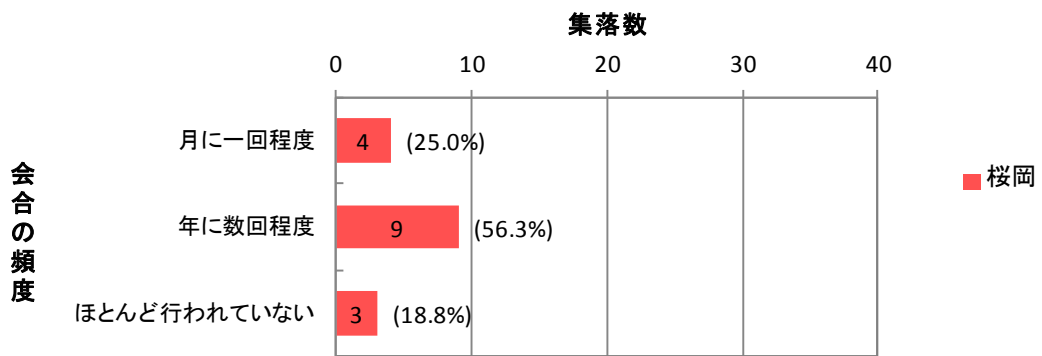
(2) 集落内の活動について

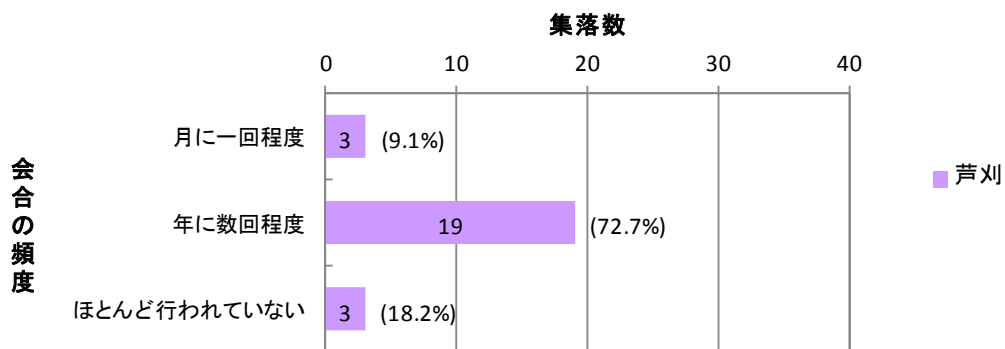
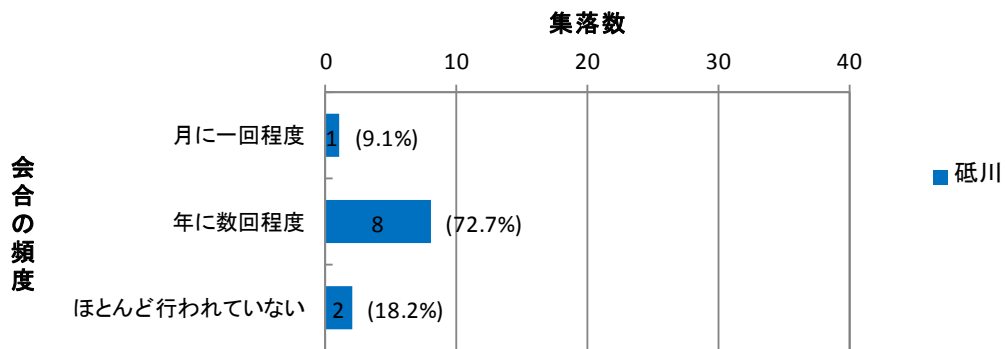
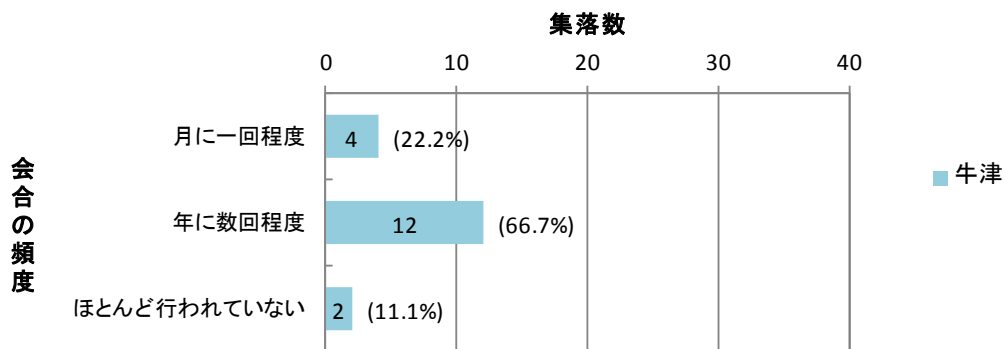
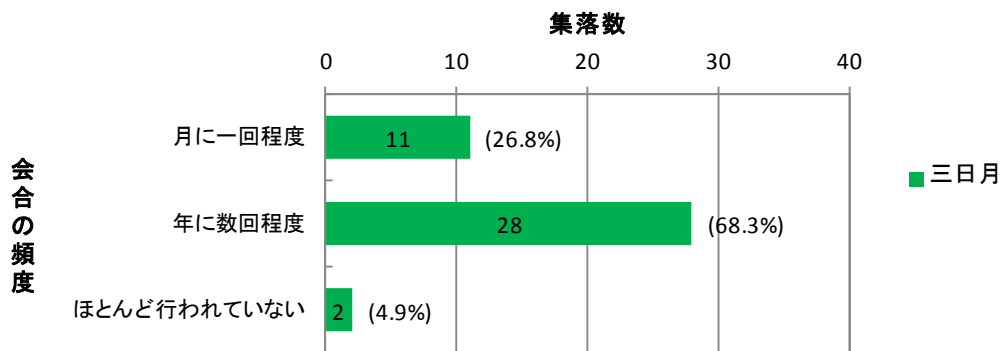
質問4 集落の中で、集落の問題や今後のことなどについて話し合う会合や寄合をどのくらいの頻度で行われていますか。
《以下の選択肢から最も近いものを1つ選び、○をしてください》

会合や寄合の開催頻度については、「月一回程度」が 34 集落、「年に数回程度」が 122 集落、「ほとんど行われていない」が 15 集落となっている。

また、集落の世帯数・高齢化率による分類では、カテゴリ B・C で「ほとんど行われていない」の割合がやや高くなっているものの、**カテゴリによる大きな違いはみられない。**



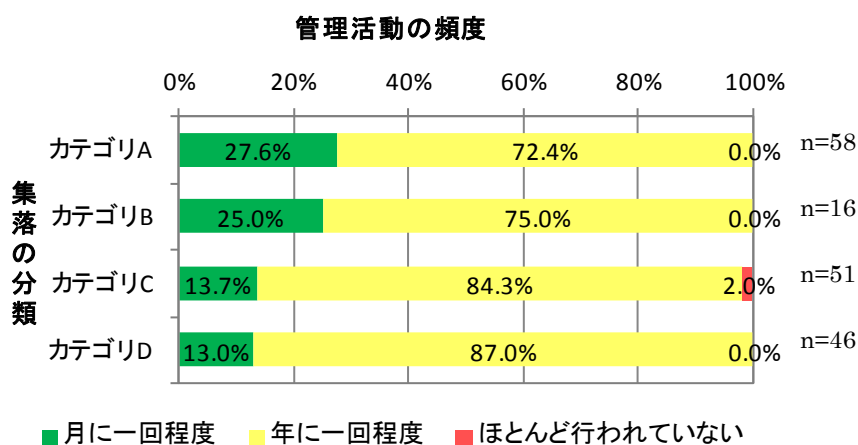
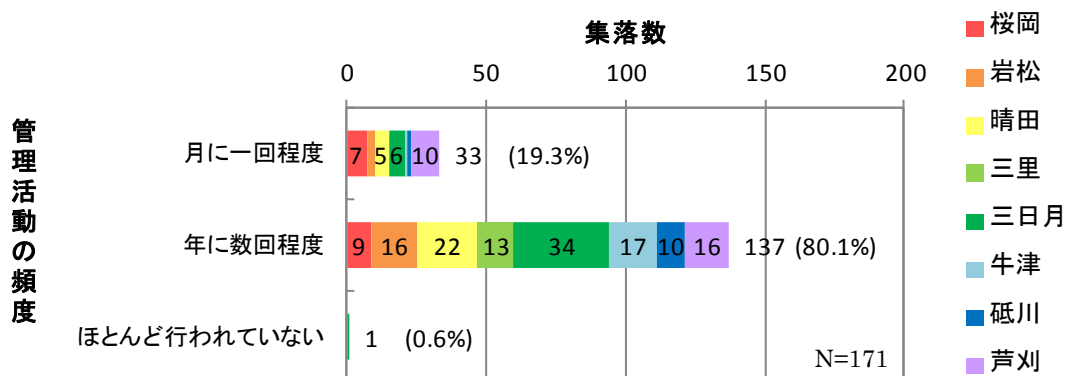


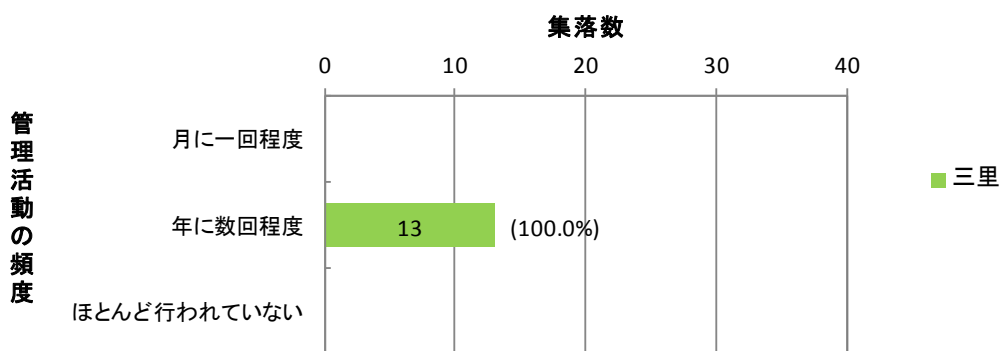
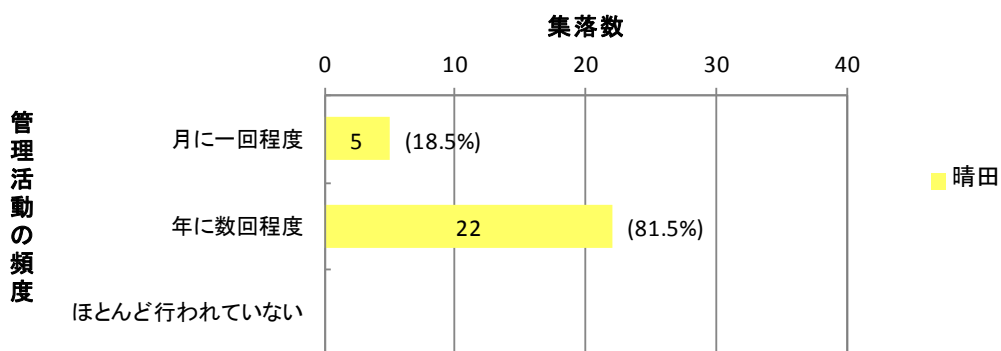
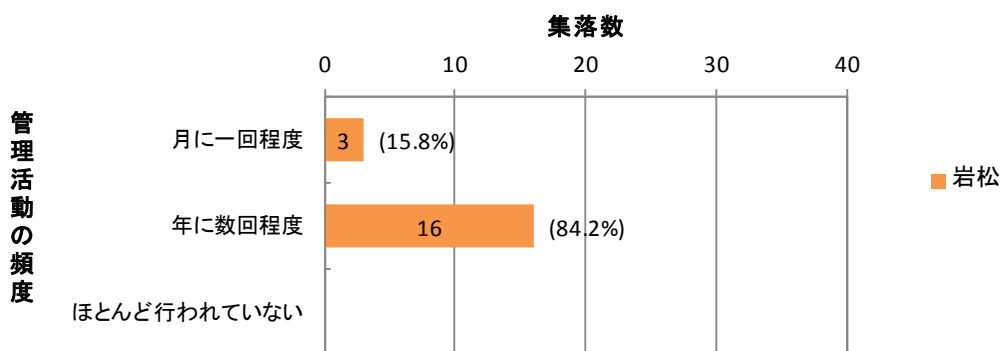
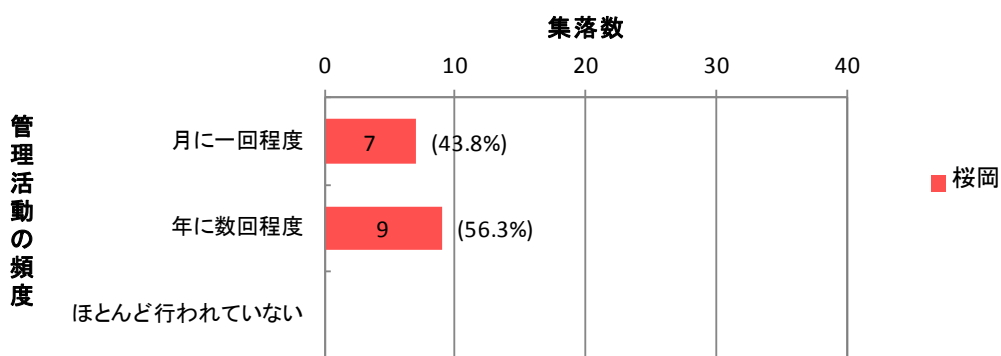


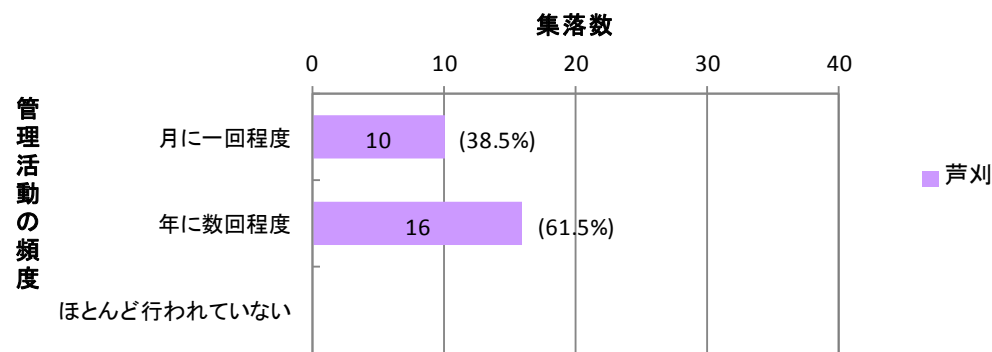
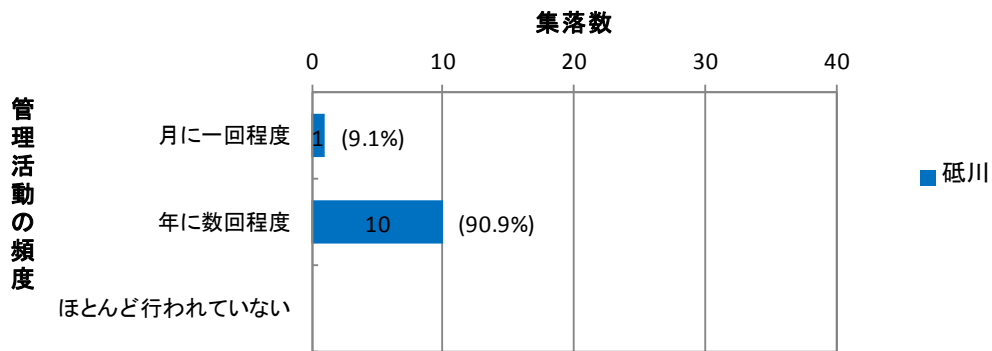
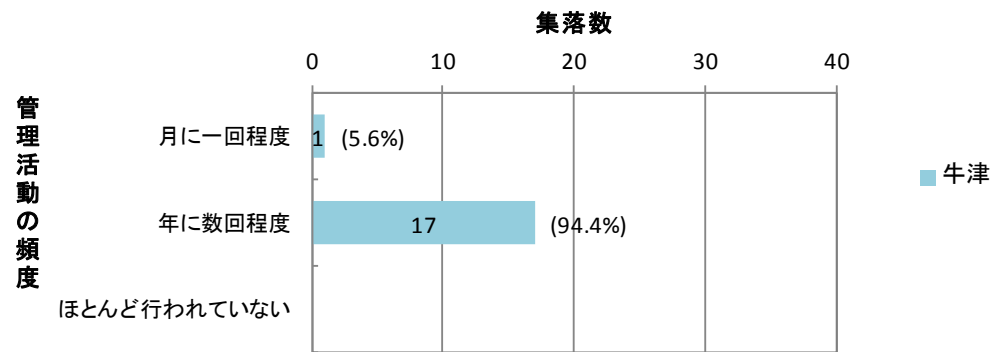
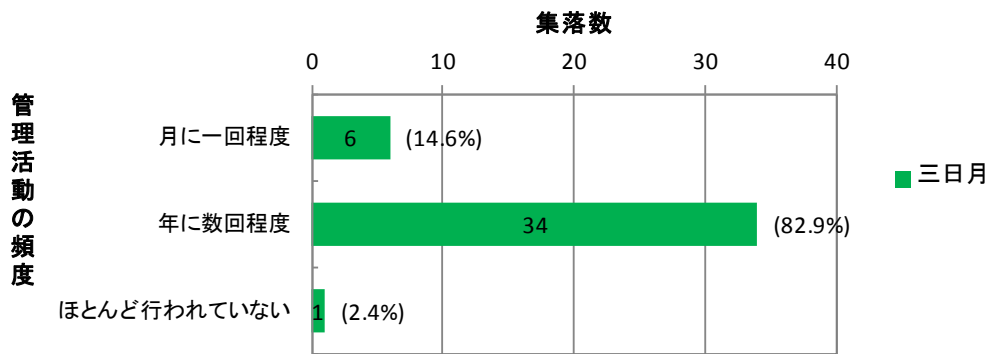
質問5 集落の中で、地域の維持管理活動（草刈等）をどのくらいの頻度で行われていますか。
《以下の選択肢から最も近いものを1つ選び、○をしてください》

集落内での地域維持管理（草刈等）の活動頻度については、「月一回程度」が33集落、「年に数回程度」が137集落、「ほとんど行われていない」が1集落となっており、**ほぼすべての集落で地域の維持活動は実施されている**ことが把握できる。

集落の世帯数・高齢化率による分類では、カテゴリAからカテゴリDになるにつれて、実施頻度は減少の傾向がみられ、**集落の小規模化・高齢化の影響が地域維持管理活動に影響を及ぼしている**ことが推察できる。



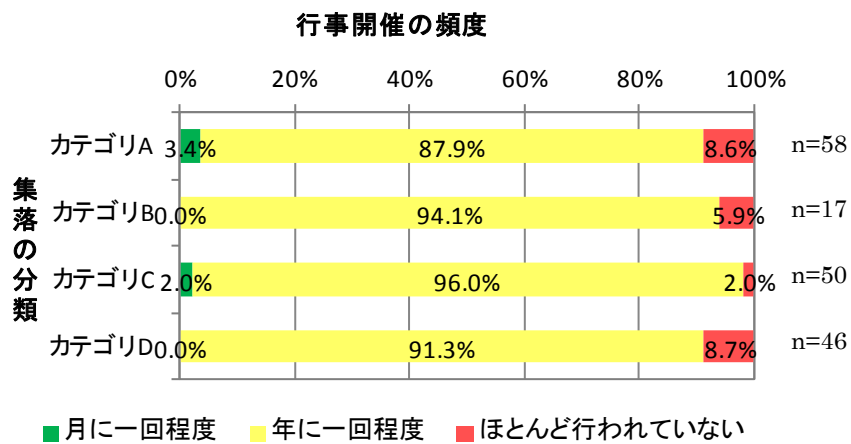
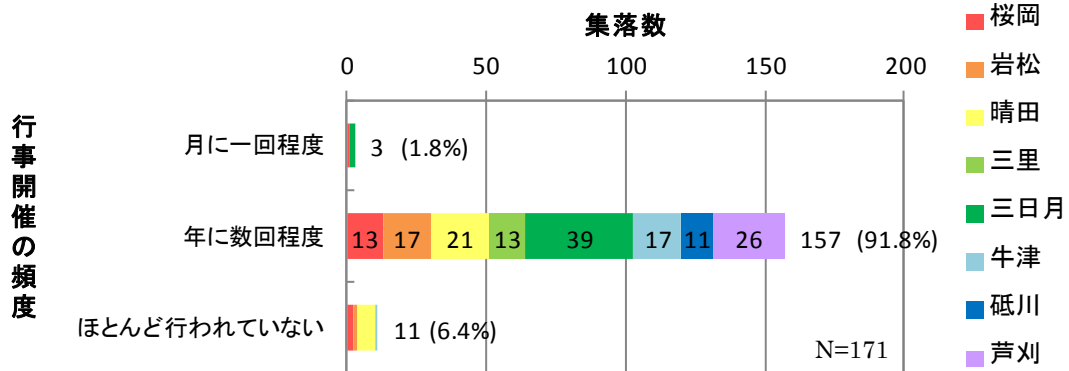


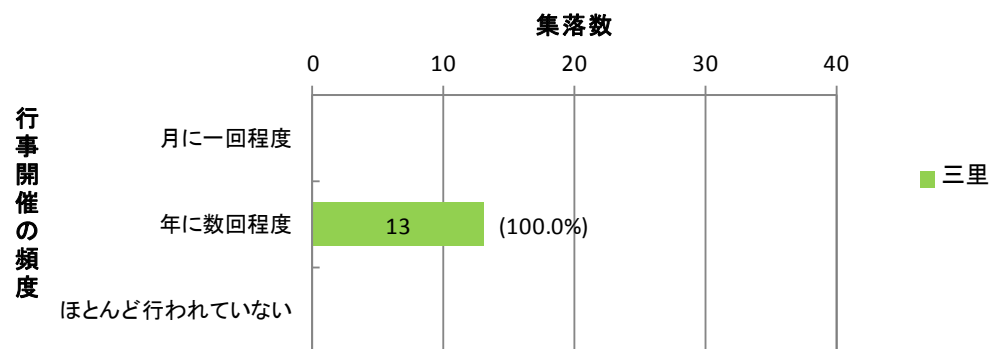
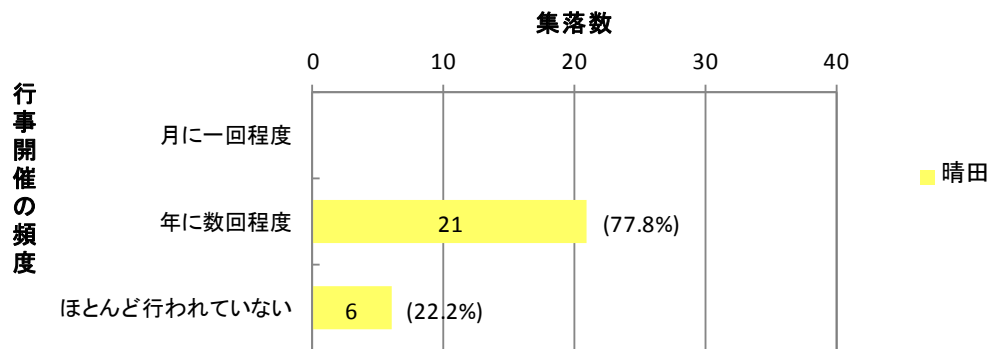
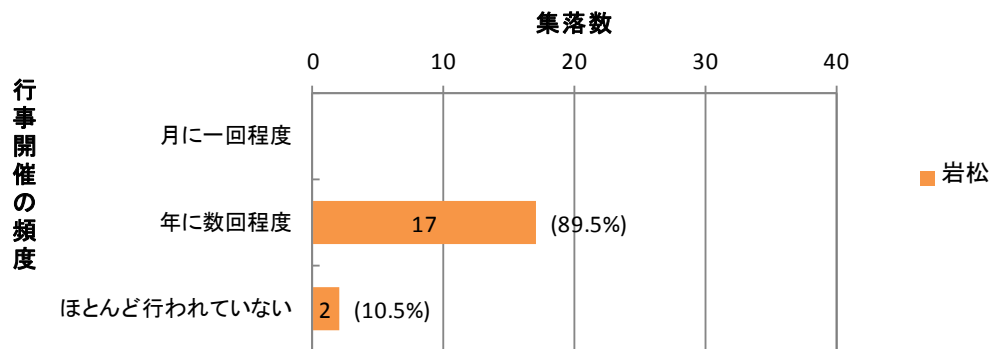
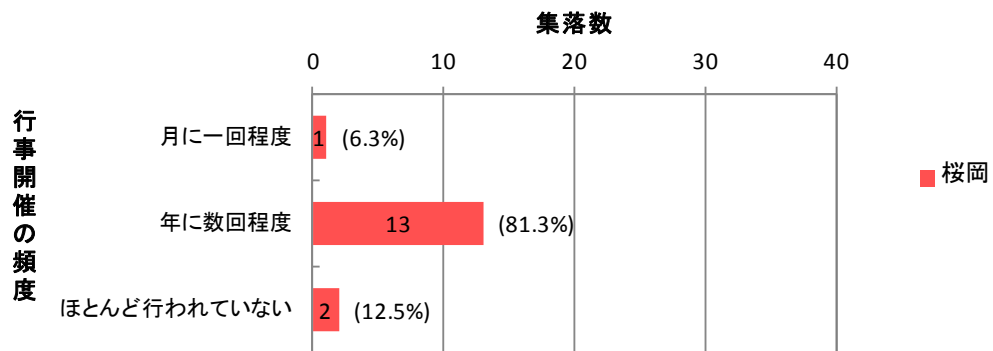


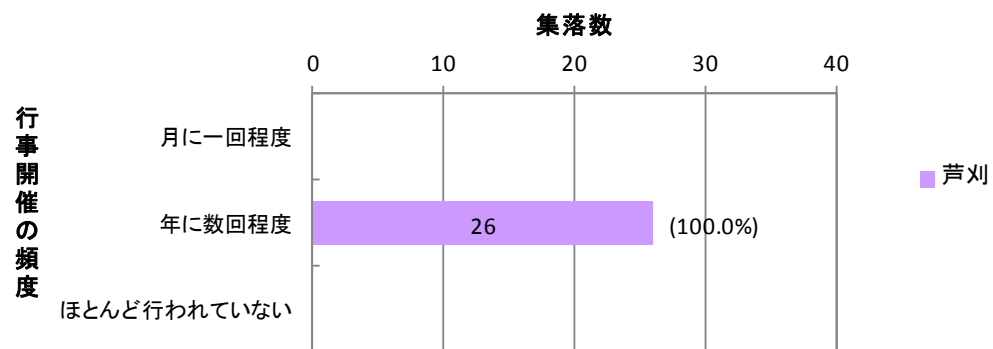
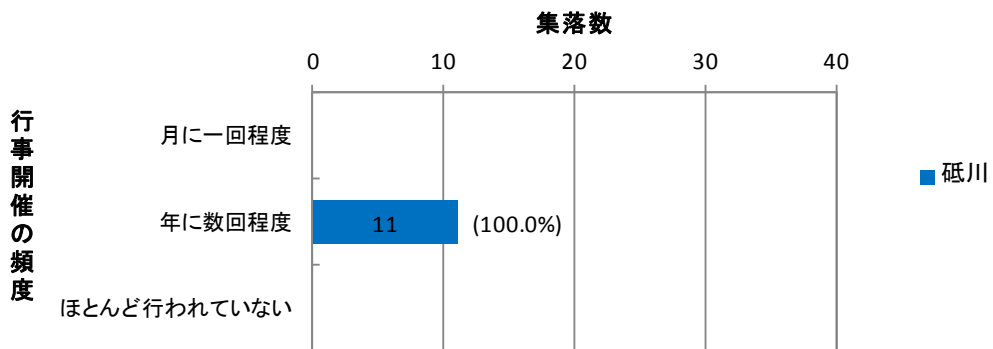
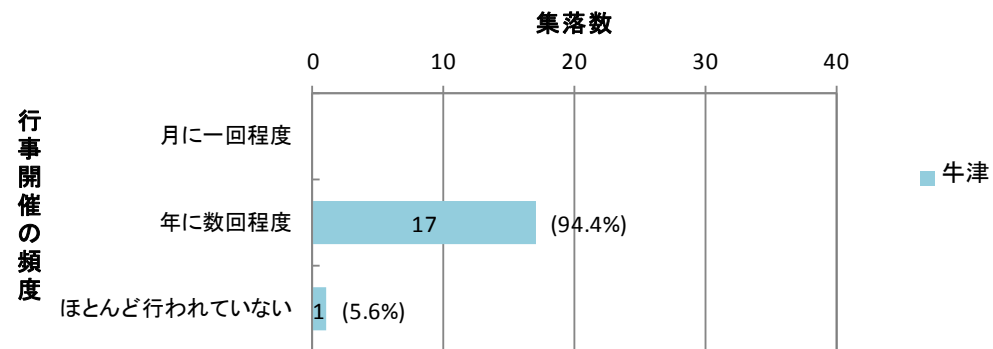
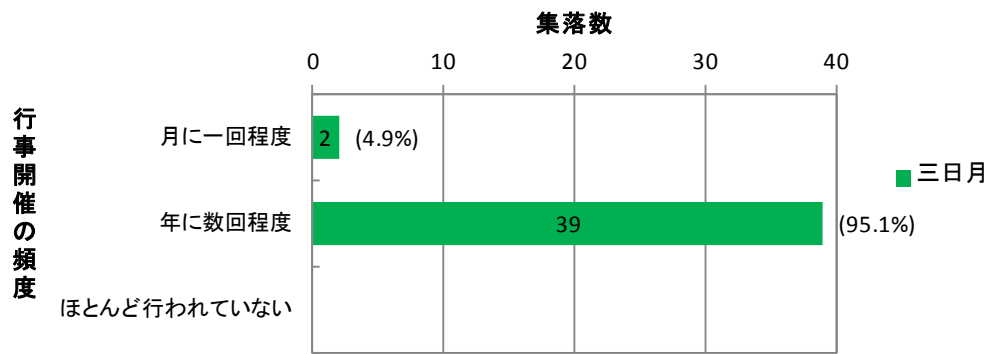
質問6 集落の中で、地域行事（祭り等）をどのくらいの頻度で行われていますか。
《以下の選択肢から最も近いものを1つ選び、○をしてください》

集落内での地域行事（祭り等）の開催頻度については、「月に一回程度」が3集落、「年に数回程度」が157集落、「ほとんど行われていない」が11集落となっている。

集落の世帯数・高齢化率による分類では、全ての集落カテゴリで約9割の集落が「年に一回程度」開催となっており、**カテゴリによる大きな違いはみられない。**



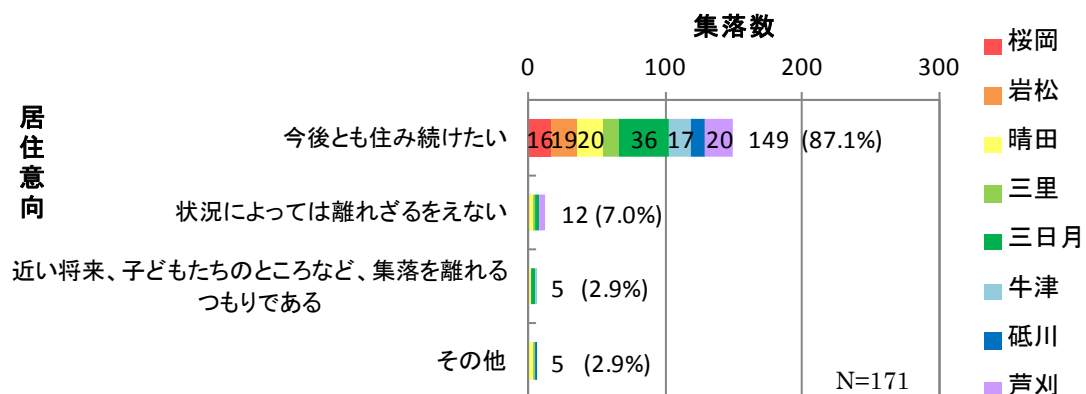




(3) 集落の今後について

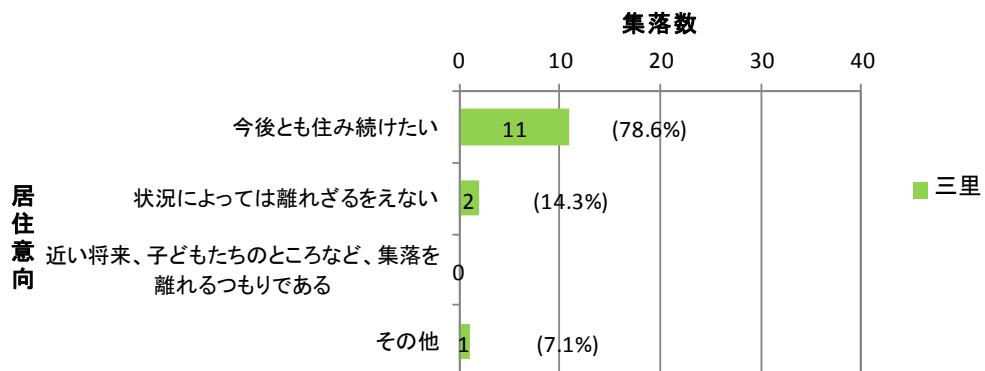
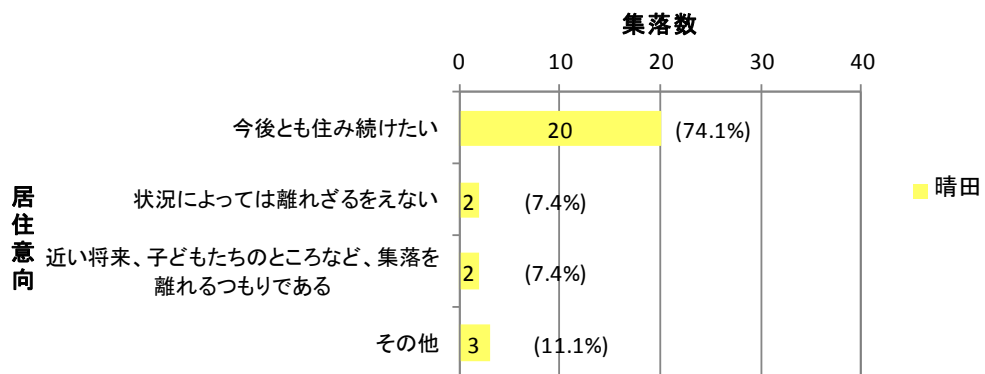
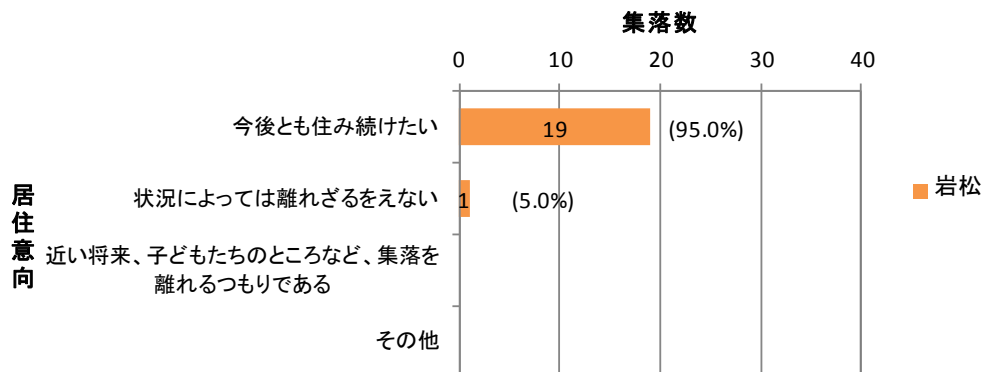
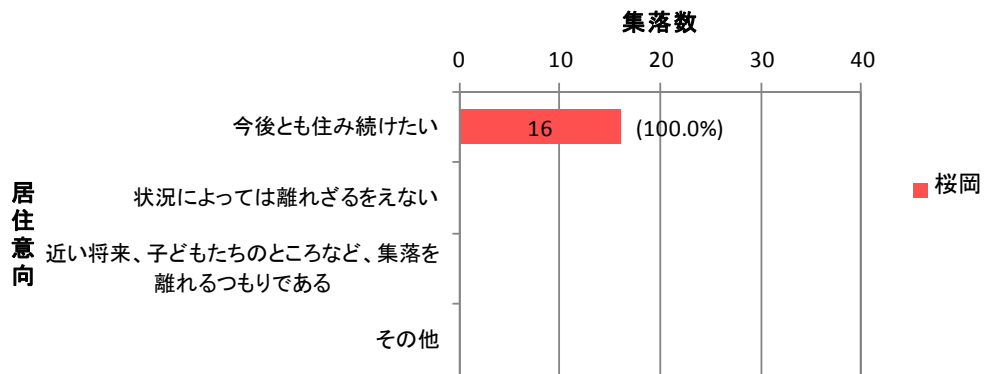
質問7 現在お住まいの集落への、今後の居住意向についてお聞かせください。
 《以下の選択肢から最も近いものを1つ選び、○をしてください》
 《あなた個人のご意見としてお答え頂いて結構です》

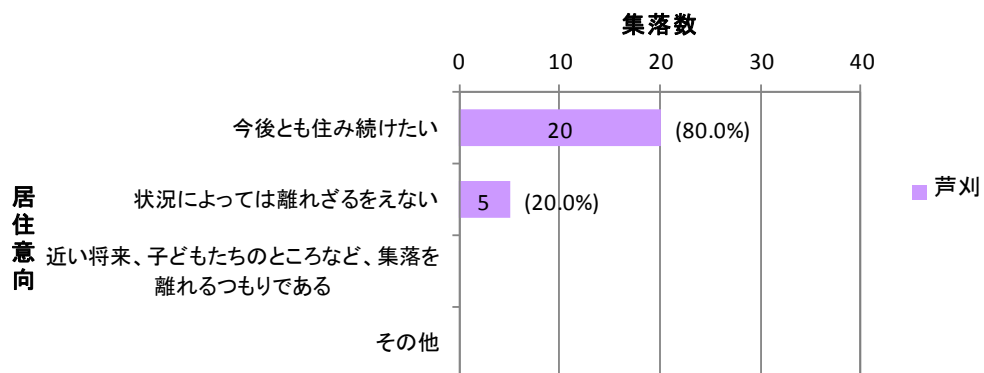
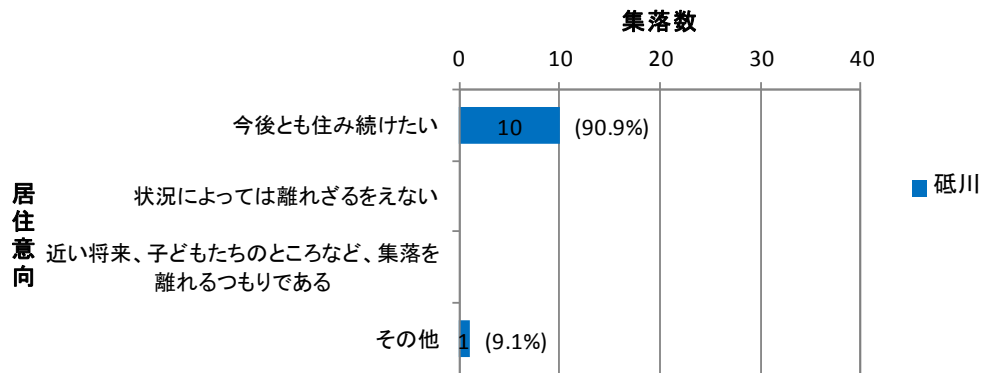
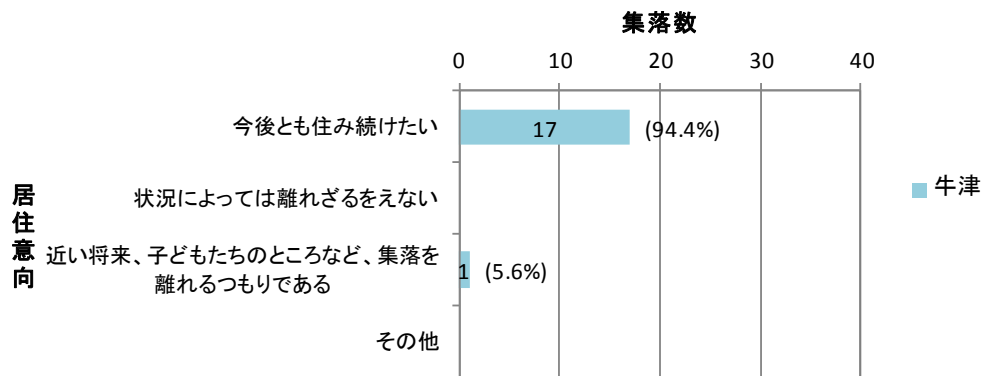
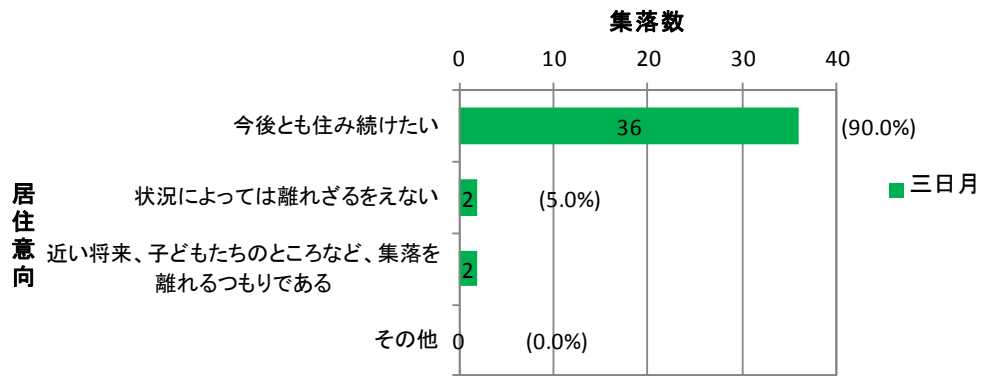
現在お住まいの集落への今後の居住意向について尋ねたところ、「今後とも住み続けたい」が149集落、「状況によっては離れざるをえない」が12集落、「近い将来、子どもたちのところなど、集落を離れるつもり」が5集落となっており、全体として**自集落に対する居住継続意志は高い**ことが分かる。



その他については以下の意見があった。**高齢化（若者減少）、コミュニティ低下、災害等を危惧**している意見がみられる。

- ・ 周辺の高齢化が進み、コミュニティ困難、孤立化が懸念される。
- ・ 体力に衰えを感じた場合は佐賀市内に居住する計画。
- ・ 単身赴任なので時期が来れば転出。
- ・ 若者の地域離れ、高齢化による地域の環境の維持が困難。また、災害等の恐れがありやむを得ず住むことができない。
- ・ 自宅もあり、子供は帰ってくる予定もなし、仕方がない。





質問8 居住を継続する上での不安は何ですか。

《各項目で、1～4のあてはまるものにそれぞれ1つに○をして下さい》

《また、その中で特に不安に感じられる項目3つに○をして下さい》

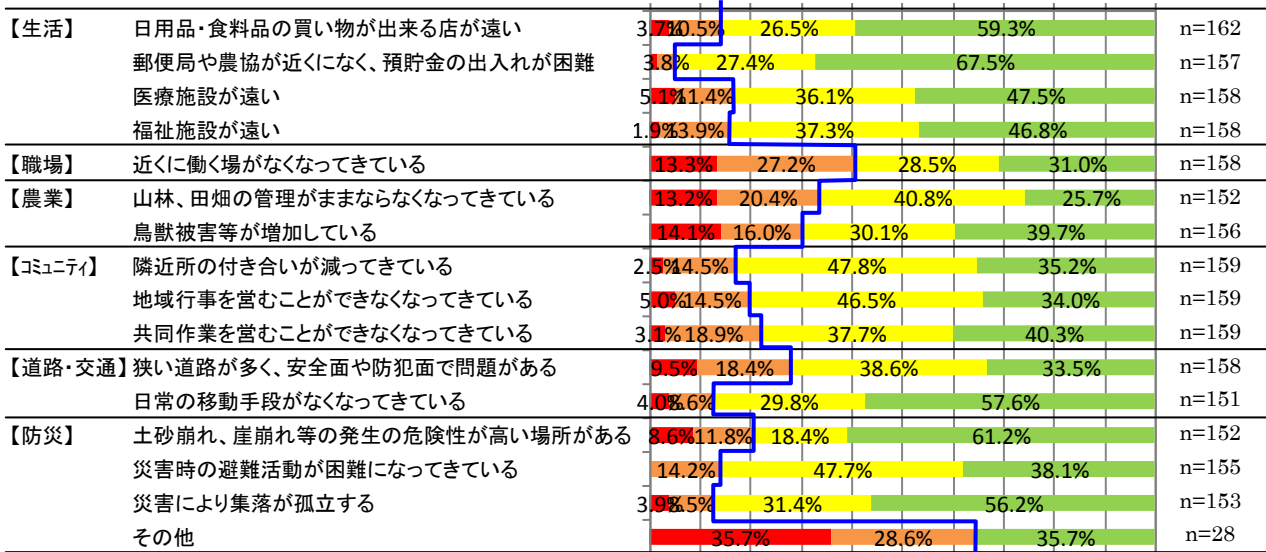
《あなた個人のご意見としてお答え頂いて結構です》

①市全体

居住を継続する上での不安については、「近くに働く場がなくなっている」、「山林、田畑の管理がままならなくなっている」、「鳥獣被害等が増加している」といった**職場、農業に関する不安の割合が高い**ことが分かる。そのほか、「狭い道路が多く、安全面や防犯面で問題がある」、「土砂崩れ、崖崩れ等の発生の危険性が高い場所がある」や「共同作業を営むことができなくなっている」といった**地域の安全性やコミュニティに関する不安も比較的割合が高い**傾向にある。

集落の割合

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

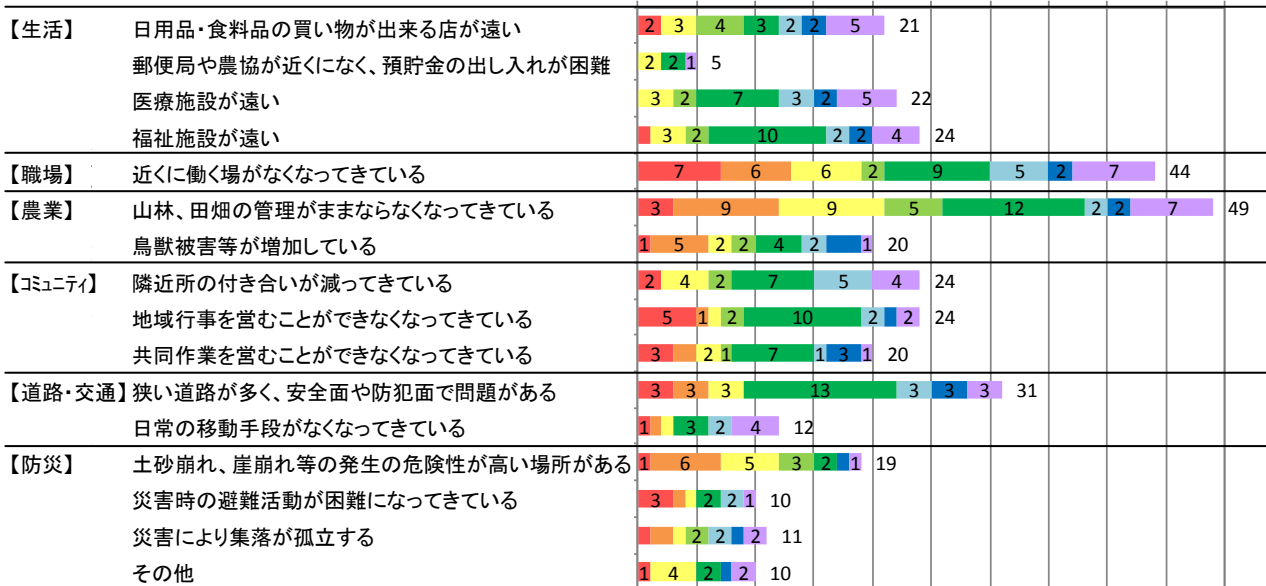


■ 大いに不安 ■ 不安 ■ やや不安 ■ 不安は感じない — 市の「不安」以上の割合

【各項目における不安の度合い】

小学校区別の集落数

0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50



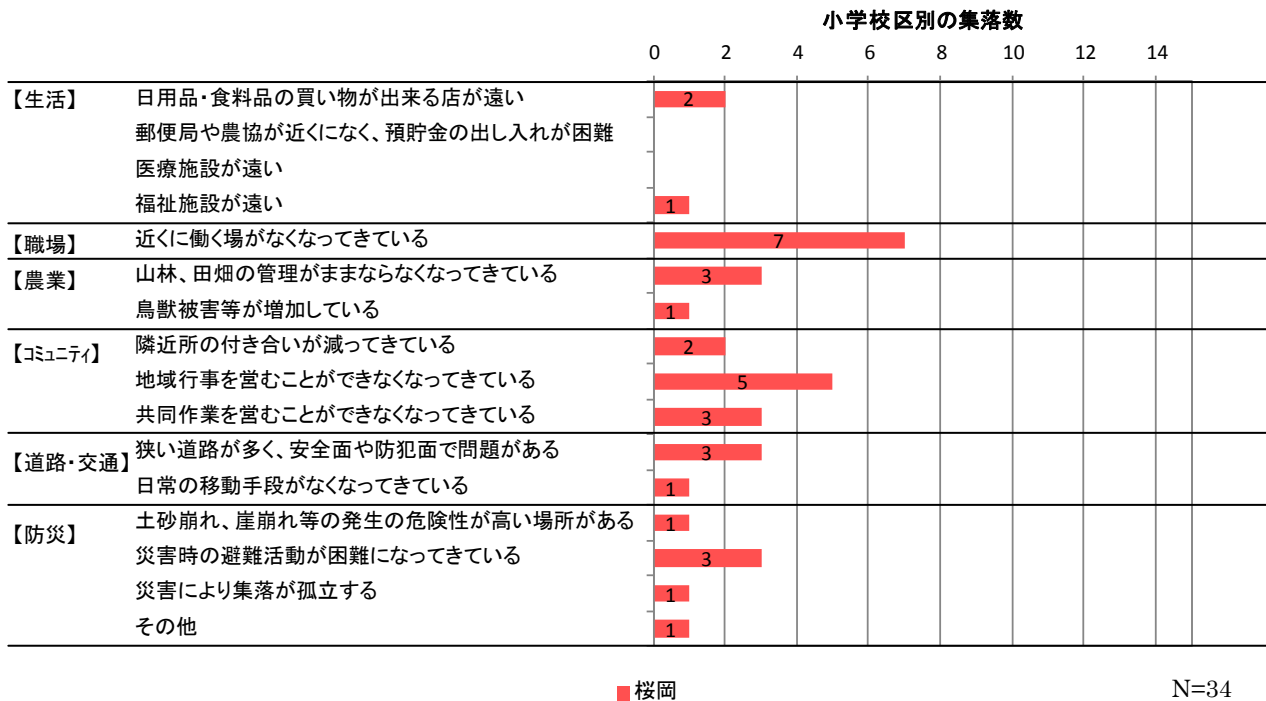
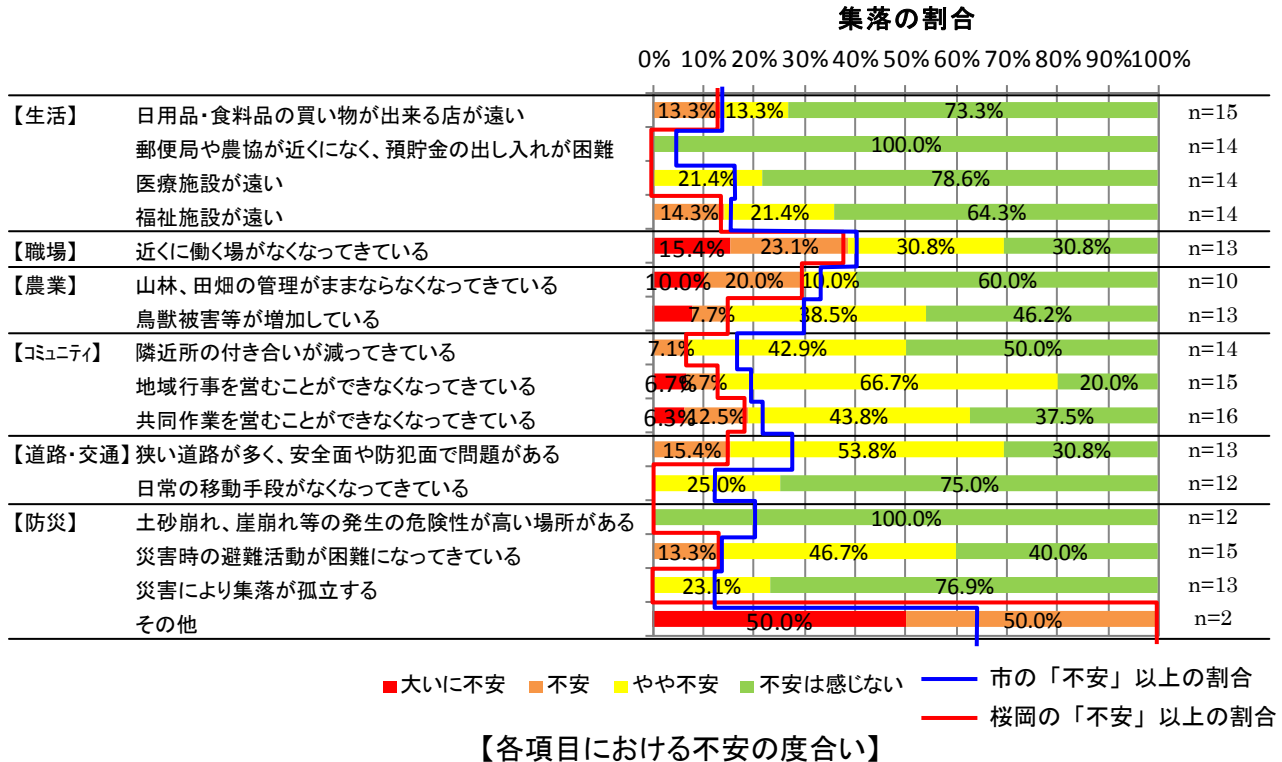
■ 桜岡 ■ 岩松 ■ 晴田 ■ 三里 ■ 三日月 ■ 牛津 ■ 砥川 ■ 芦刈

N=342

【特に不安を感じる上位3つ】

②桜岡小学校区

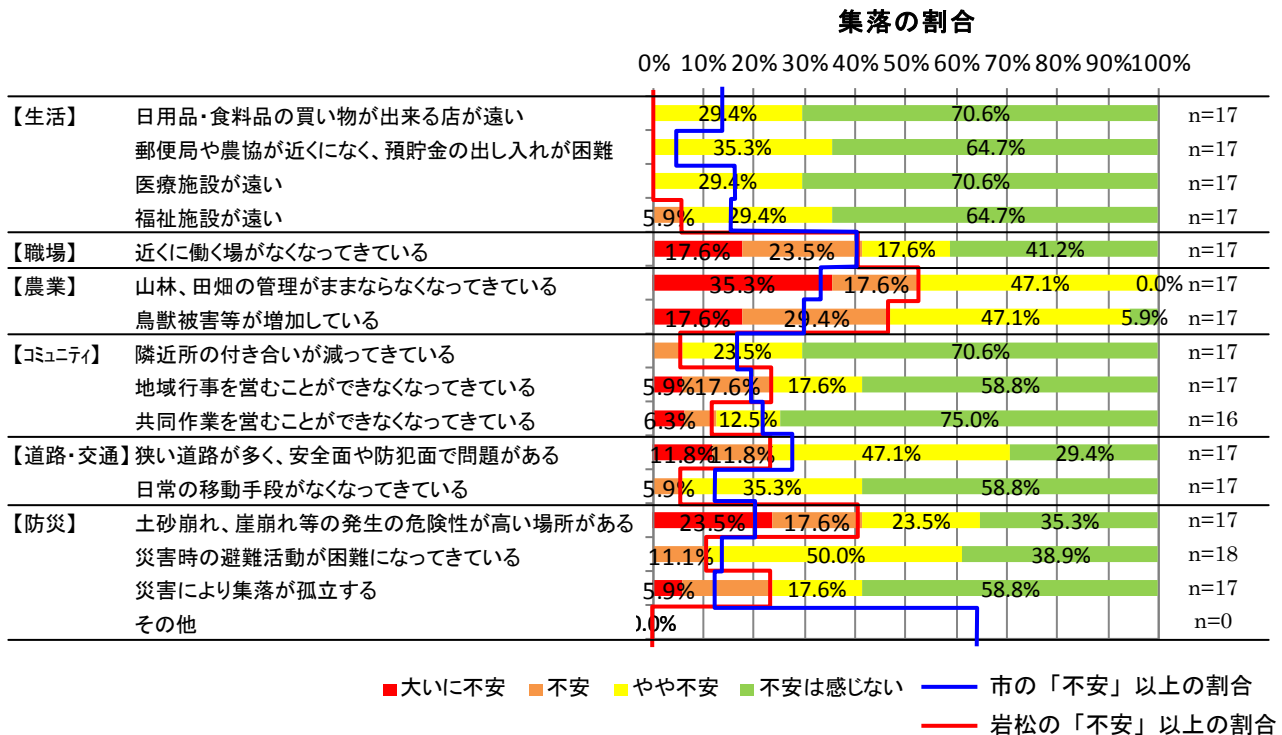
桜岡小学校区では、市平均よりも不安を感じる割合がすべての項目において低くなっている。不安の上位では、「近くに働く場がなくなっている」、「山林・田畑の管理がままならなくなっている」の傾向が高くみられる。



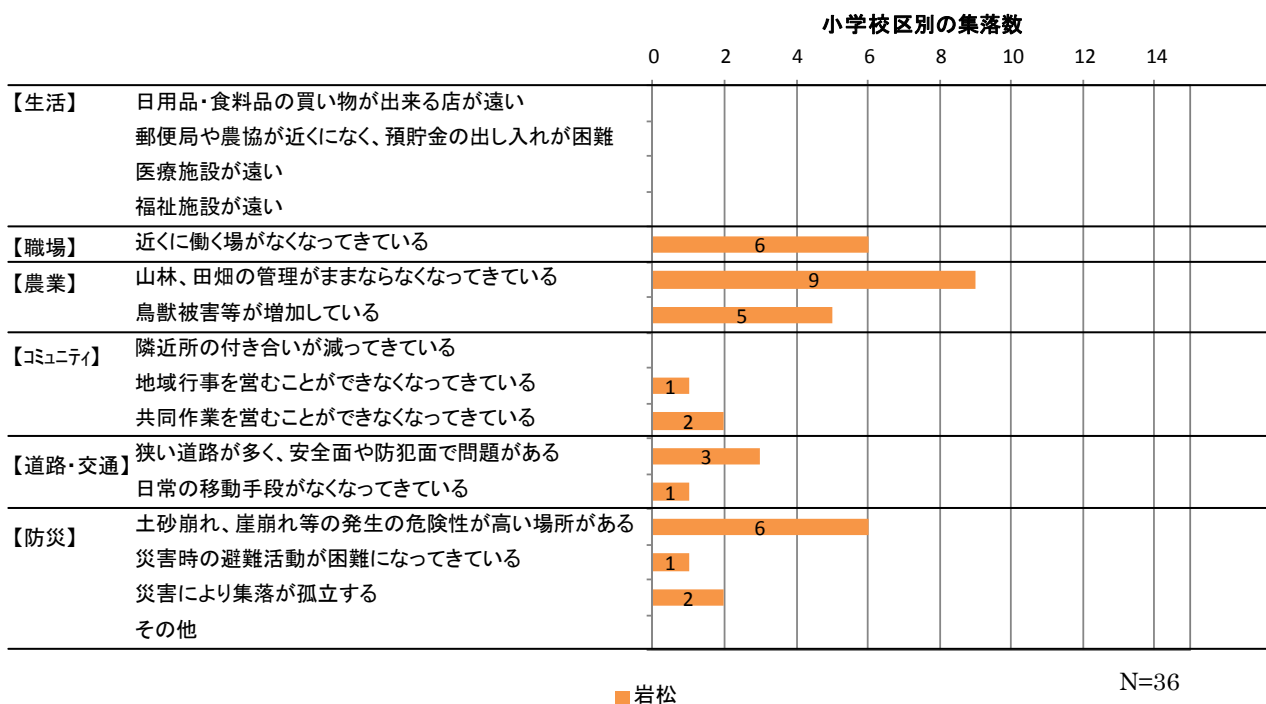
【特に不安を感じる上位3つ】

③岩松小学校区

岩松小学校区では小城市全体平均よりも高い割合で不安に感じられる項目が5項目ある。中でも、「山林・田畑の管理がままならなくなっている」、「鳥獣被害等が増加してきている」といった**農業に関する不安が大きく**、また、「土砂崩れ、崖崩れ等の発生の危険性が高い場所がある」といった**災害不安も市平均を大きく上回っている**。



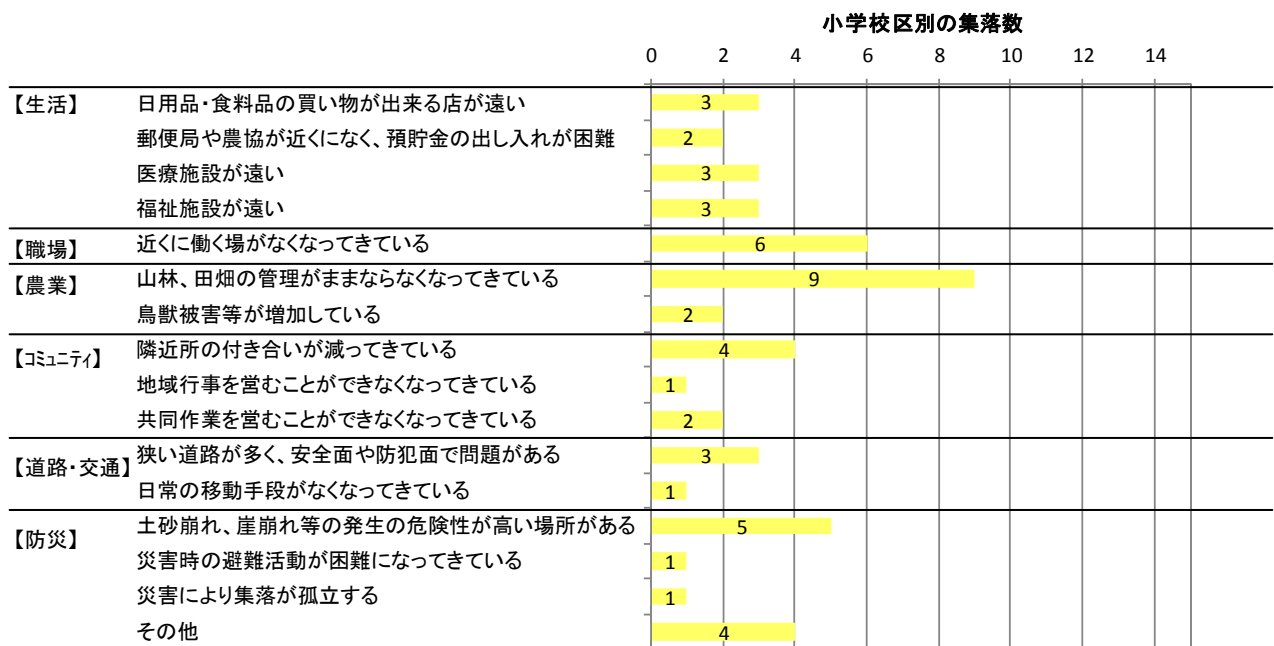
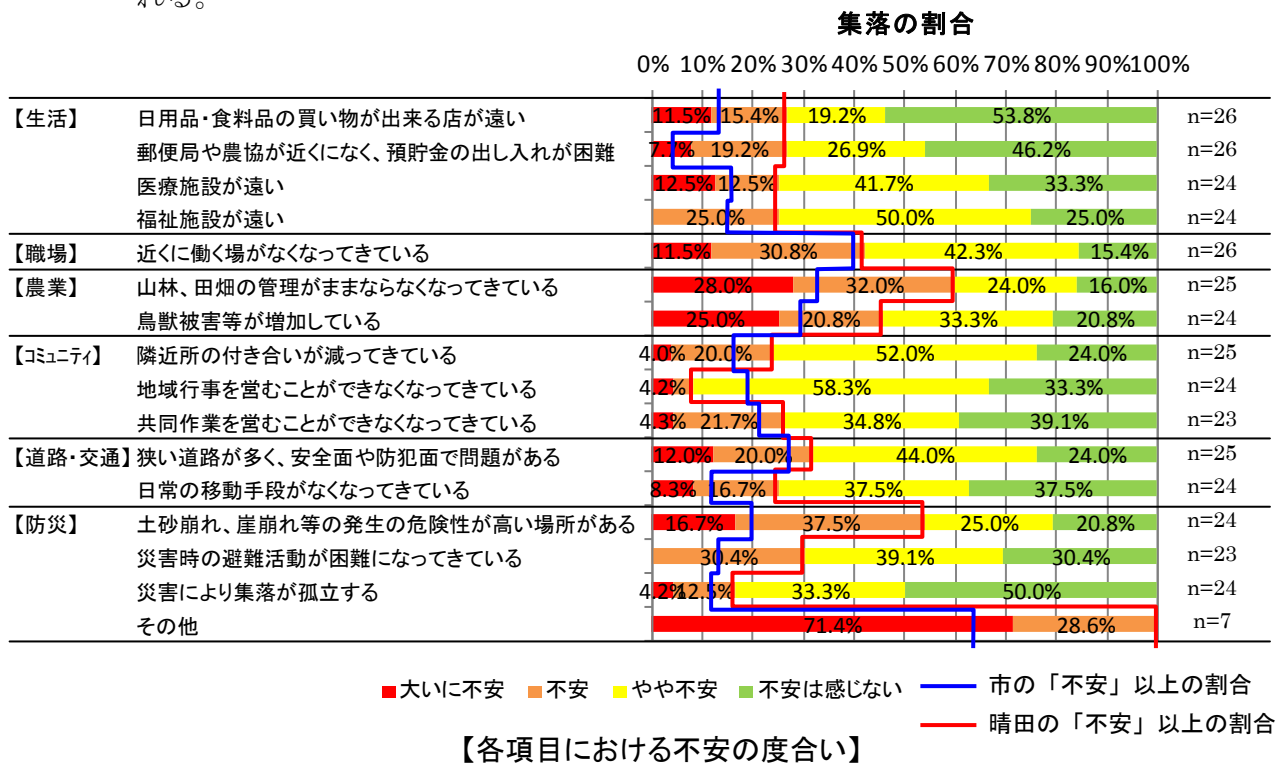
【各項目における不安の度合い】



【特に不安を感じる上位3つ】

④晴田小学校区

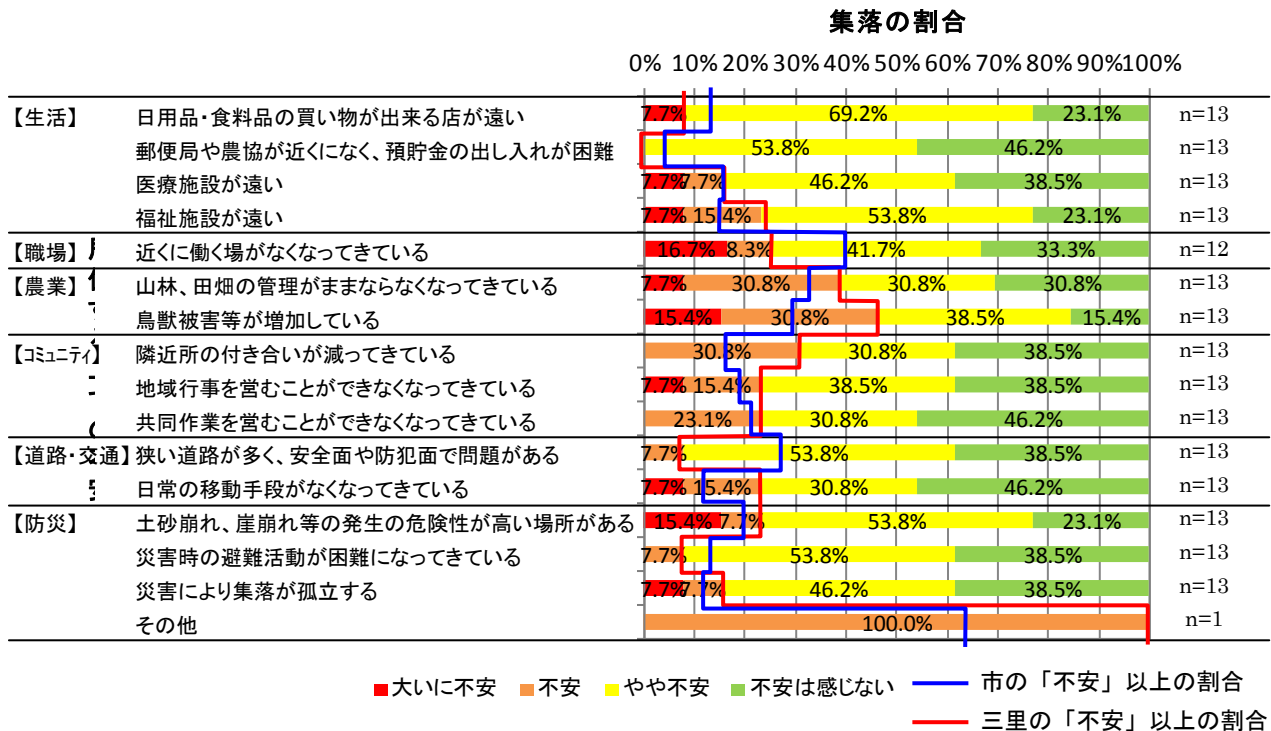
晴田小学校区では、「地域行事を営むことができなくなっている」の**1項目を除く全ての項目で市平均よりも高い割合で不安を感じる**結果となった。中でも「山林・田畑の管理がままならなくなっている」、「土砂崩れ、崖崩れ等の発生の危険性が高い場所がある」といった**農業と災害に関する不安割合が高く**、また、「日用品・食料品の買い物が出来る店が遠い」といった**生活に関する不安も総じて高い**ことが把握される。



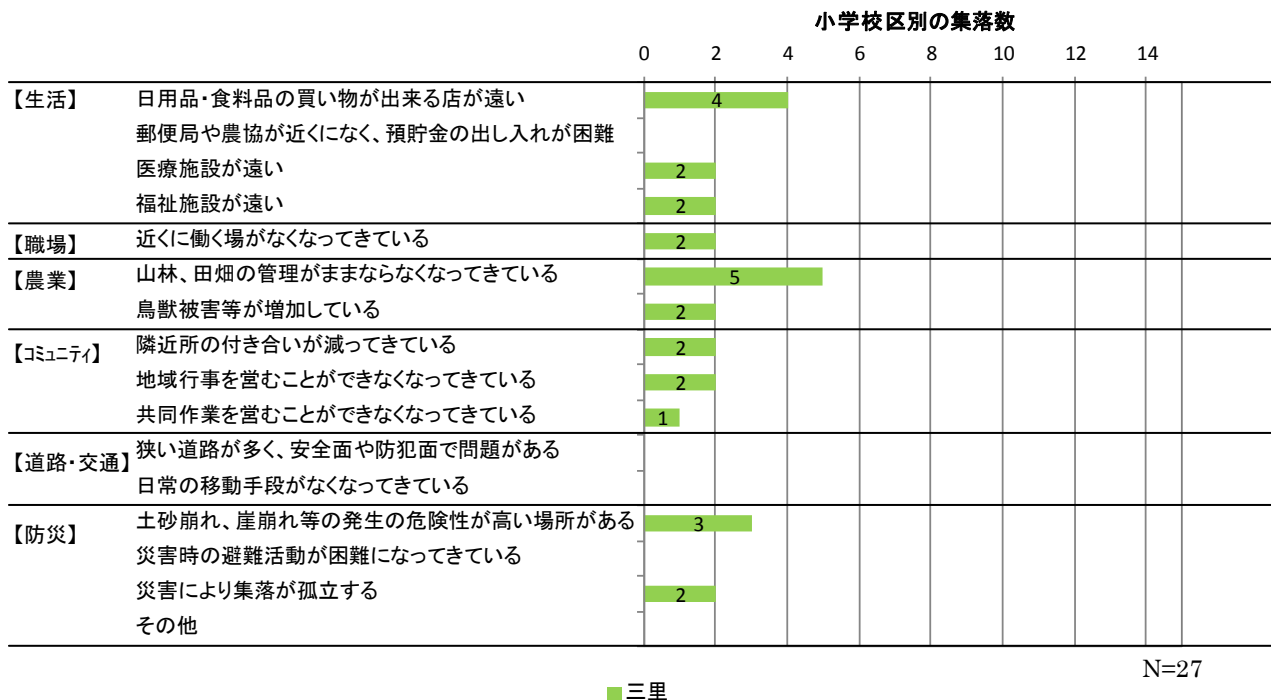
【特に不安を感じる上位3つ】

⑤三里小学校区

三里小学校区では、半分程度の項目で市平均よりも高くなっている。最も顕著なのは、「鳥獣被害等が増加している」が市平均を大きく上回っており、およそ半数の集落が不安に感じていることが分かる。一方、職場や道路環境に関する不安の割合は低いといった特徴がみられる。



【各項目における不安の度合い】

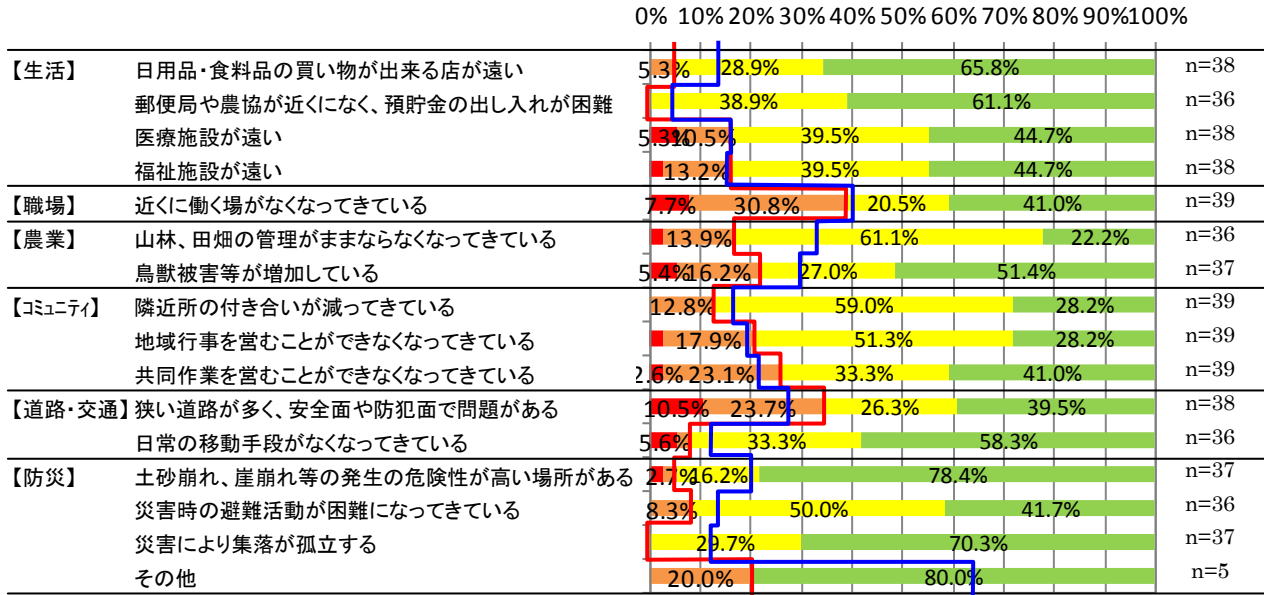


【特に不安を感じる上位3つ】

⑥三日月小学校区

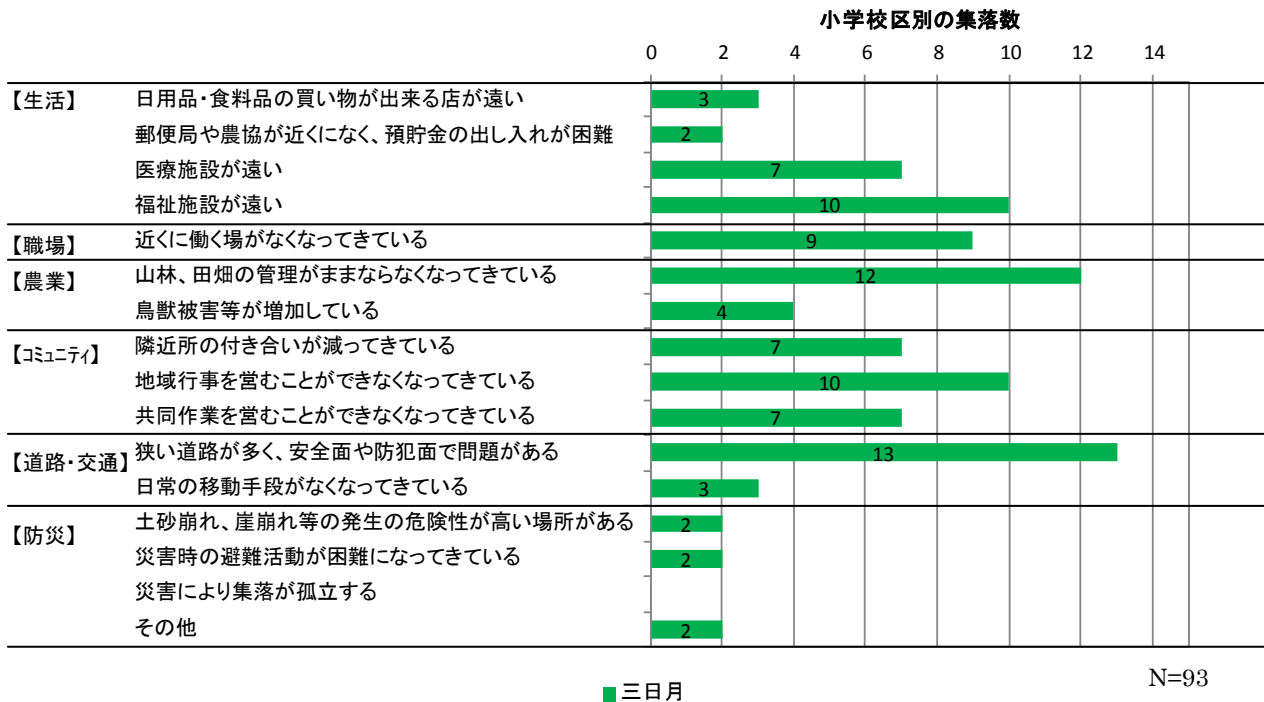
三日月小学校区では、**全体的に不安の割合は低い傾向**となっている。「狭い道路が多く、安全面や防犯面で問題がある」が市平均よりも高くなっており、**急激な市街化が進んだことが交通安全面の不安へ影響**を与えていると想定される。

集落の割合



■ 大いに不安 ■ 不安 ■ やや不安 ■ 不安を感じない — 市の「不安」以上の割合
— 三日月の「不安」以上の割合

【各項目における不安の度合い】



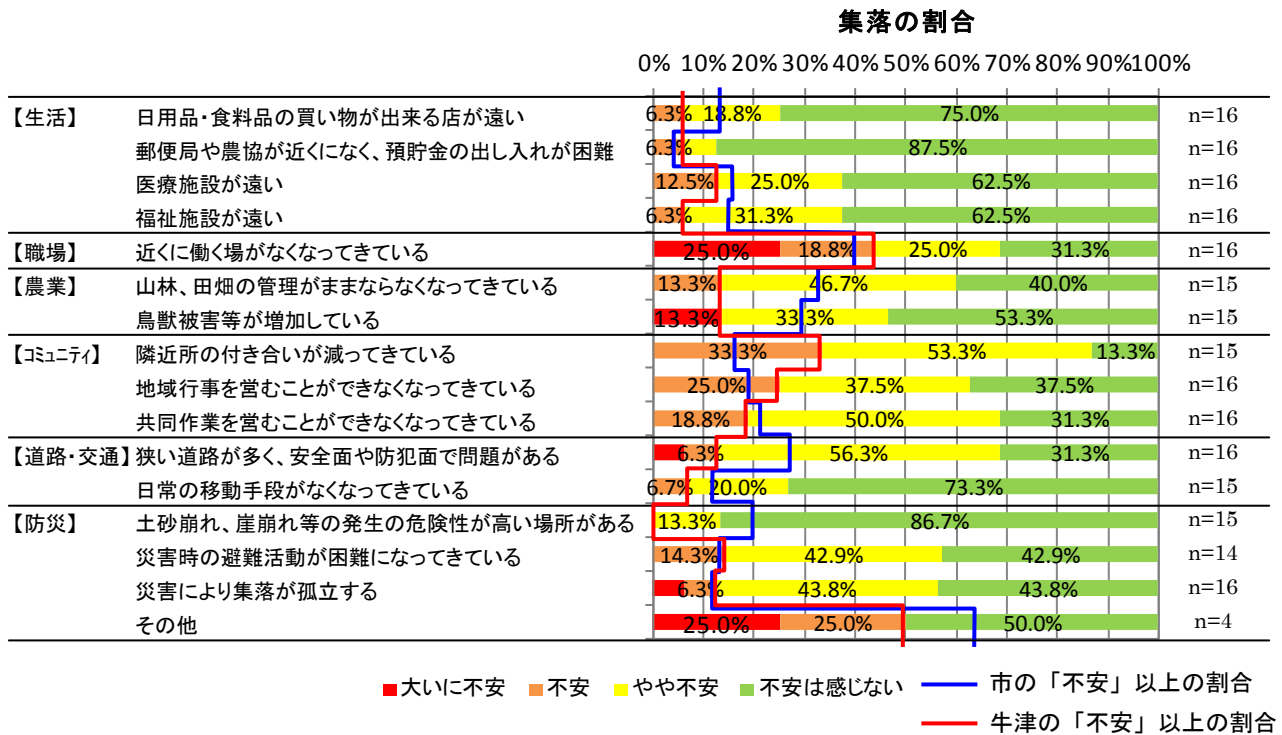
■ 三日月

N=93

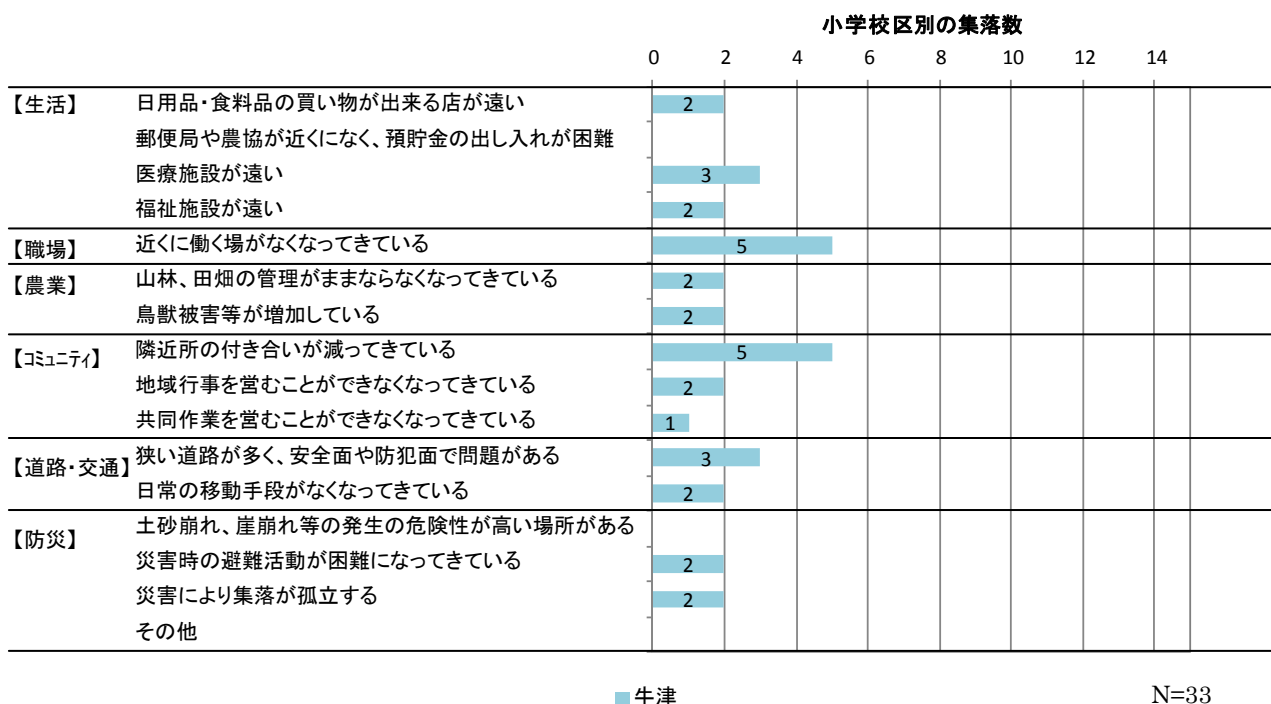
【特に不安を感じる上位3つ】

⑦牛津小学校区

牛津小学校区では、**全体的に不安の割合が低い傾向**にある。その中で、「隣近所の付き合いが減ってきている」、「地域行事を営むことができなくなっている」や「近くに働く場がなくなっている」といった**コミュニティと職場に関する不安の割合が市平均よりも高くなっている**。



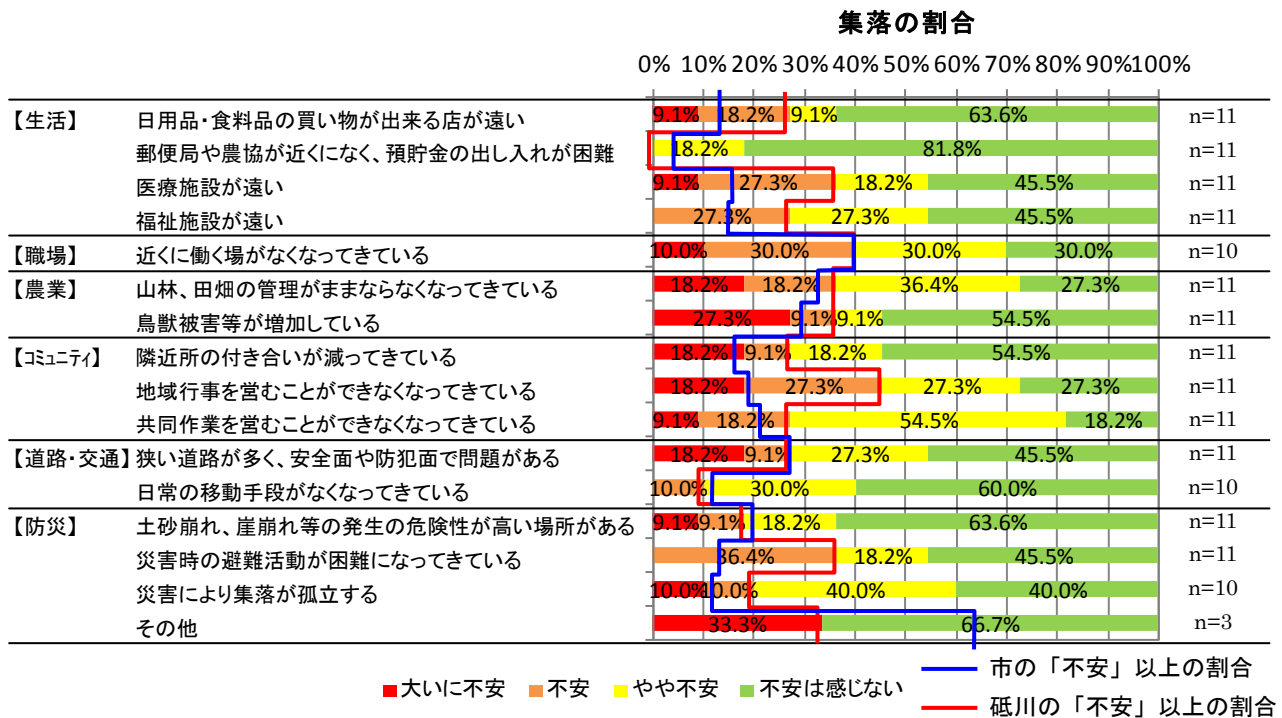
【各項目における不安の度合い】



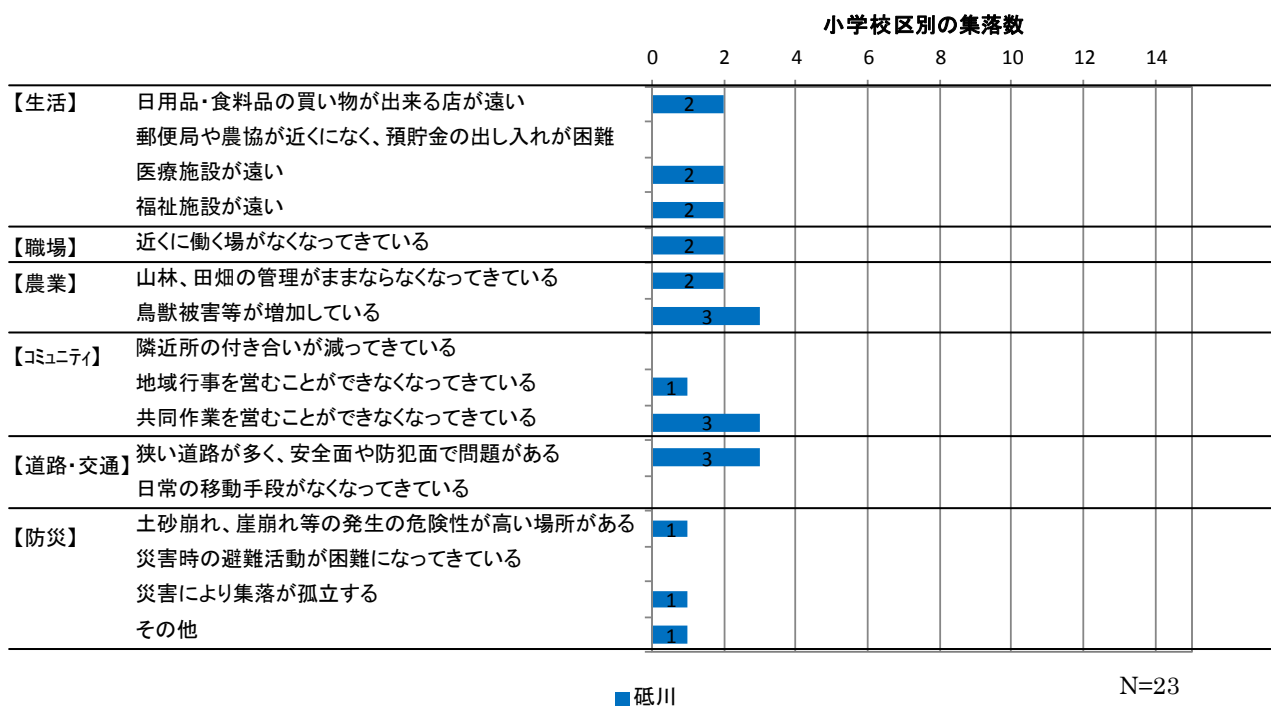
【特に不安を感じる上位3つ】

⑧砥川小学校区

砥川小学校区では、ほとんどの項目で市平均よりも高い傾向であるが、特に、「地域行事を営むことができなくなっている」、「隣近所の付き合いが減ってきている」、「医療施設が遠い」、「日用品・食料品の買い物が出来る店が遠い」といった**コミュニティや生活に関する不安の割合が高い**ことが分かる。



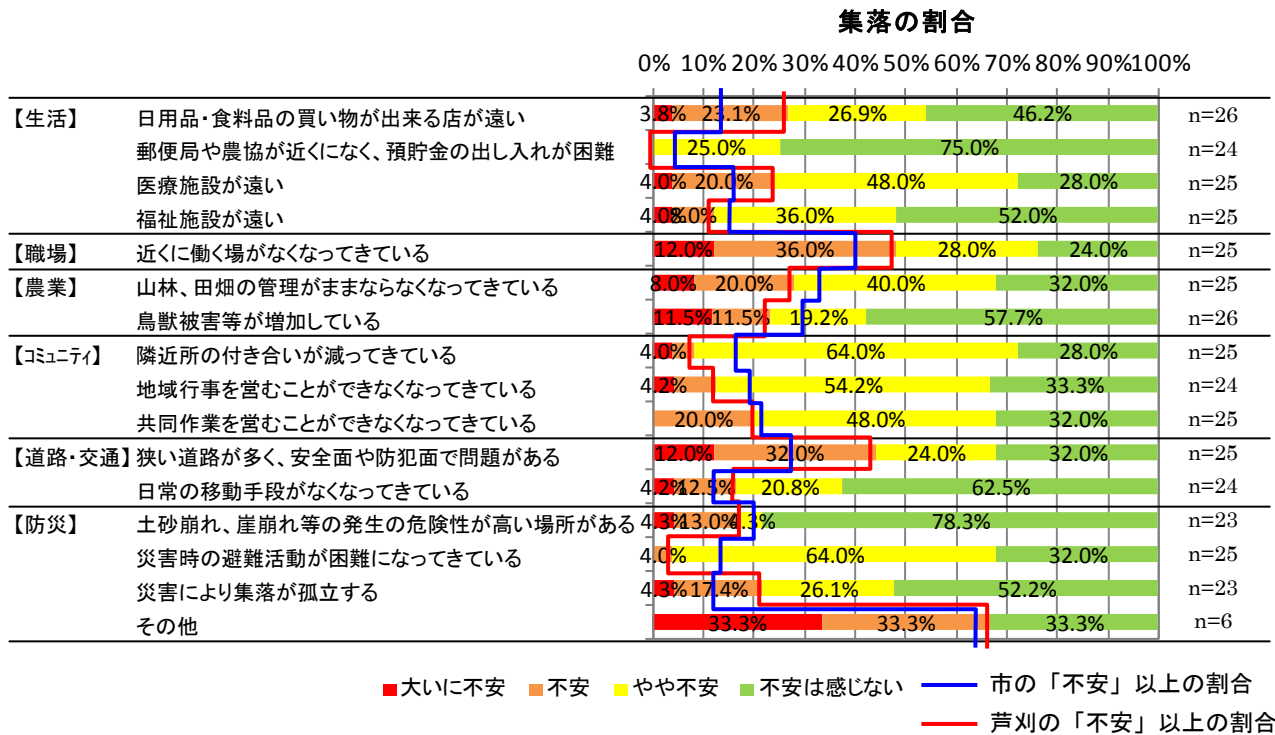
【各項目における不安の度合い】



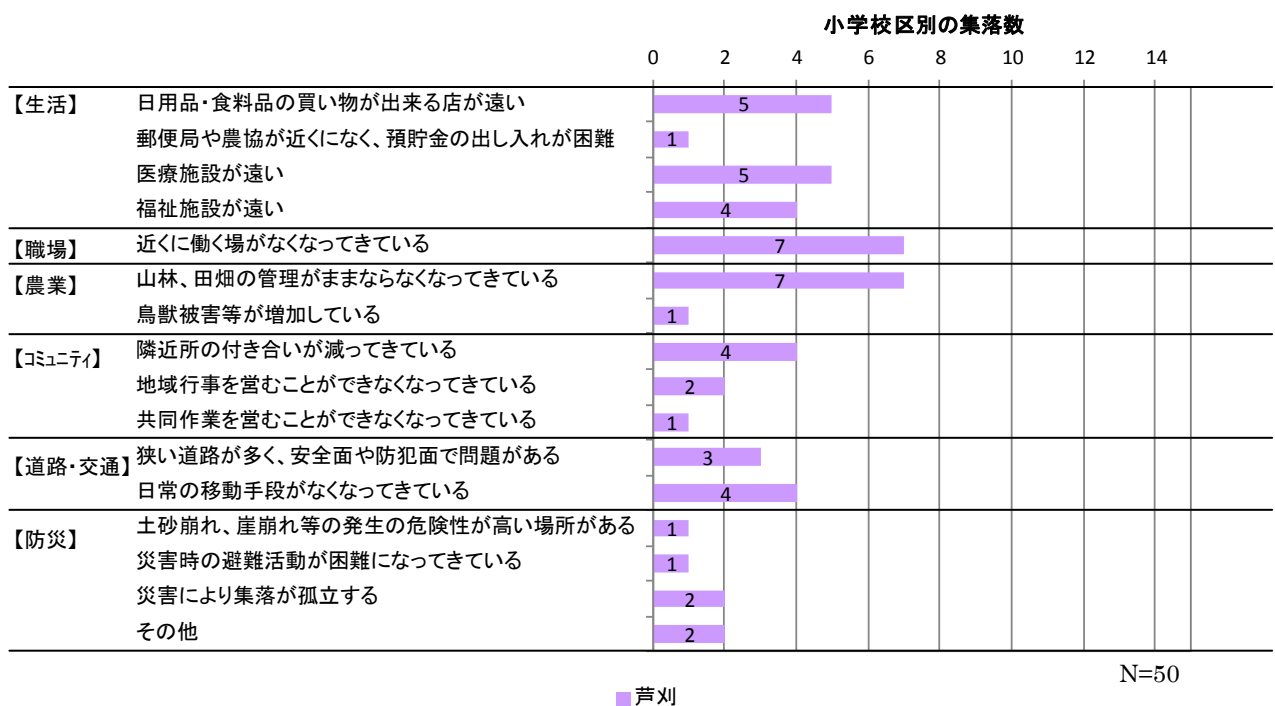
【特に不安を感じる上位3つ】

⑨ 芦刈小学校区

芦刈小学校区では、「日用品・食料品の買い物が出来る店が遠い」、「医療施設が遠い」、「近くに働く場がなくなっている」、「狭い道路が多く、安全面や防犯面で問題がある」といった**生活、職場、道路環境に関する項目で市平均よりも不安の割合が高い**傾向にある。



【各項目における不安の度合い】



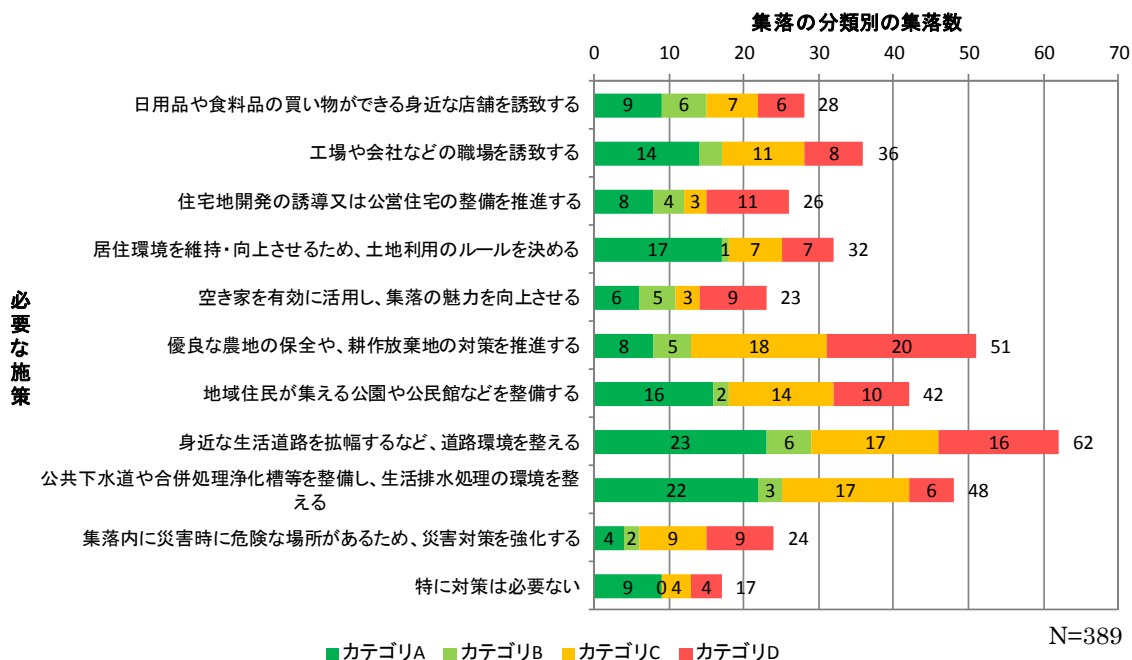
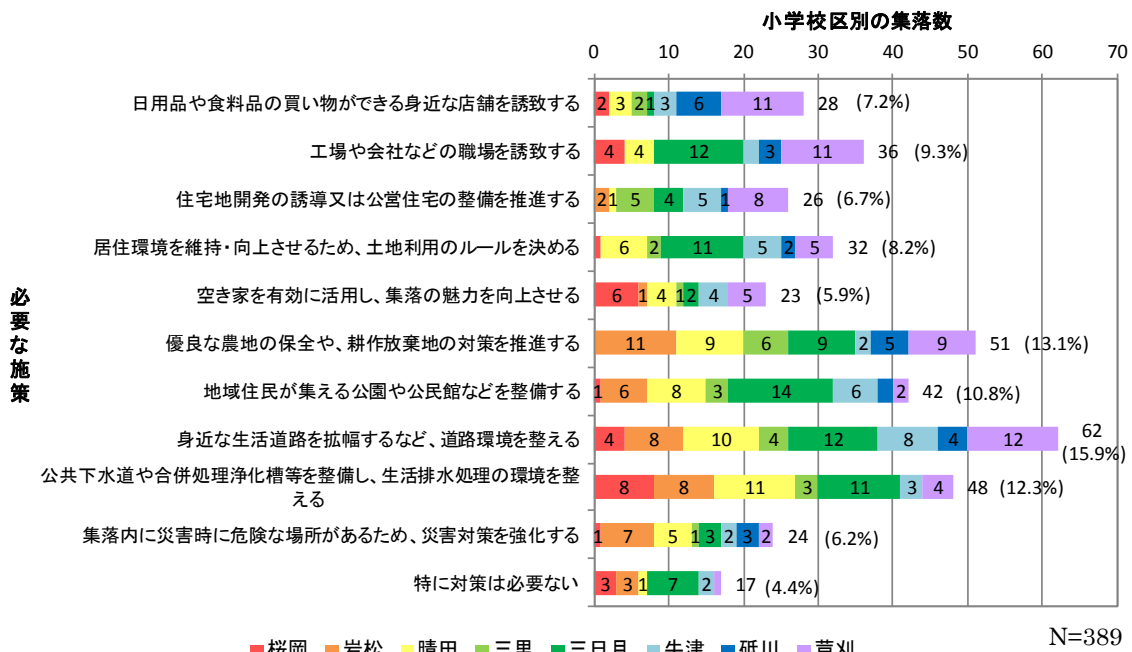
【特に不安を感じる上位3つ】

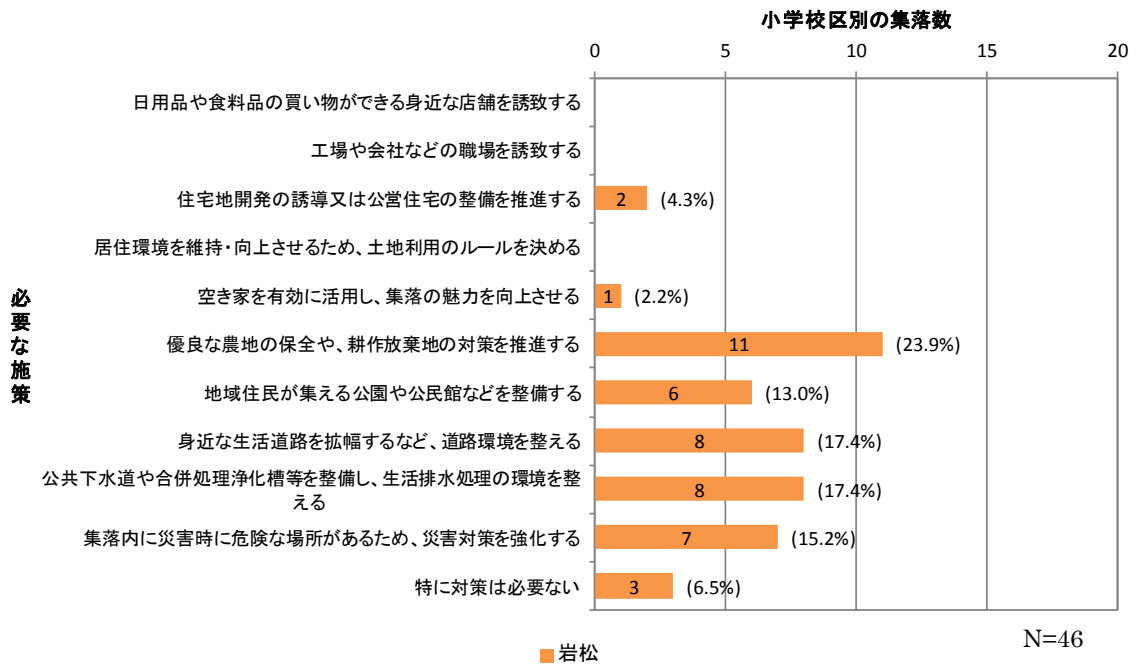
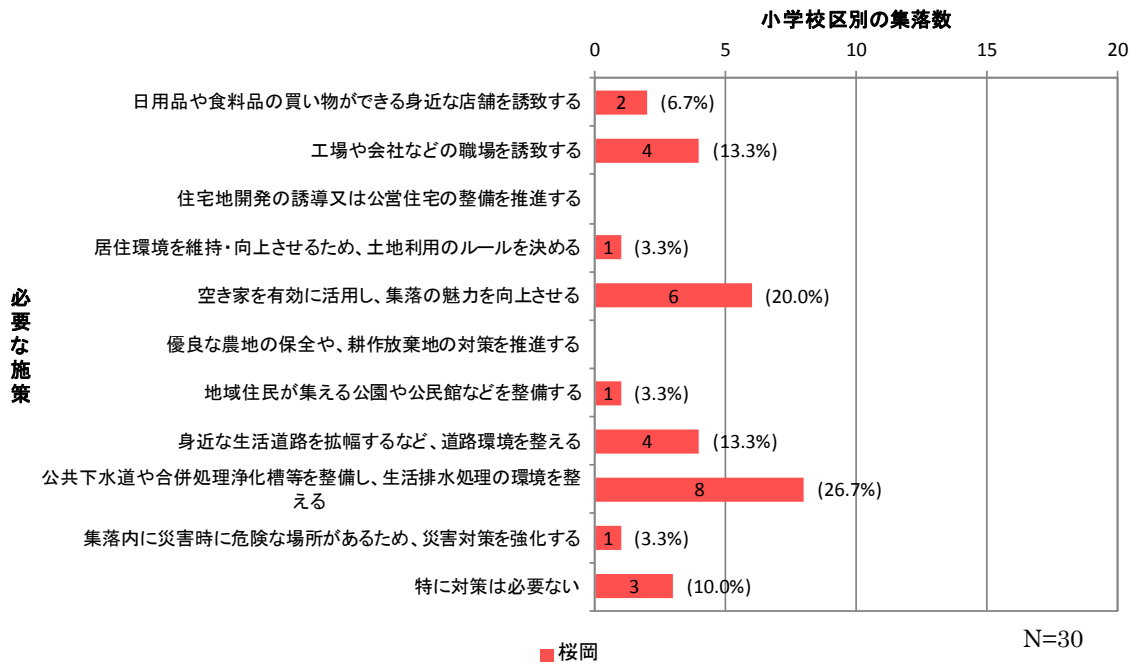
表 4-6 質問8の「その他」の意見

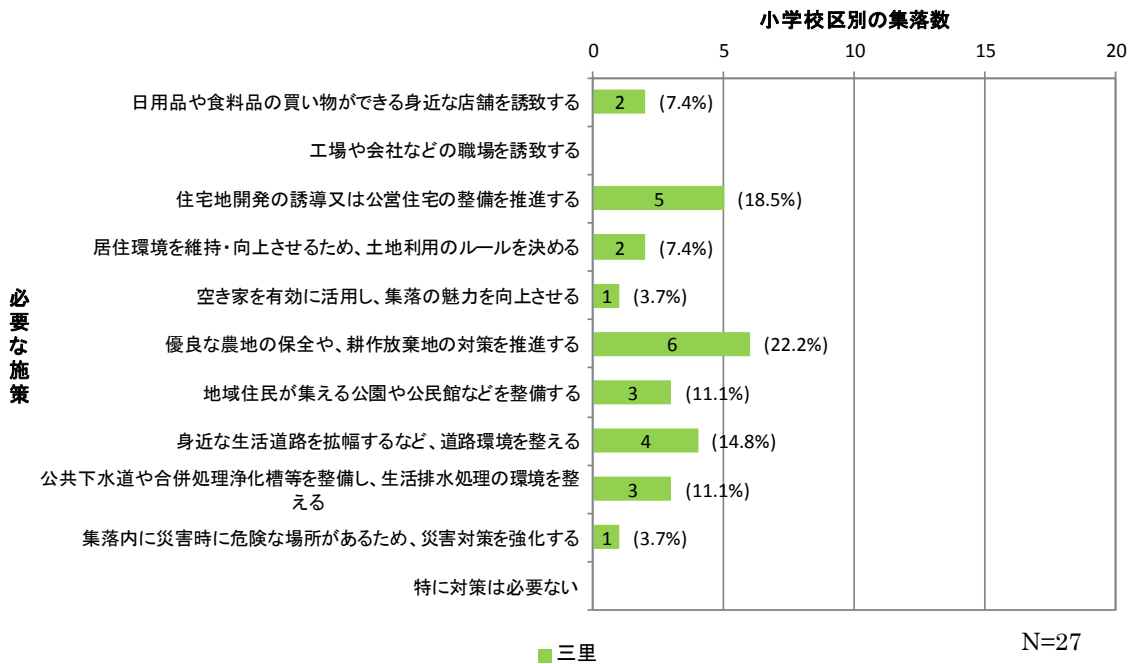
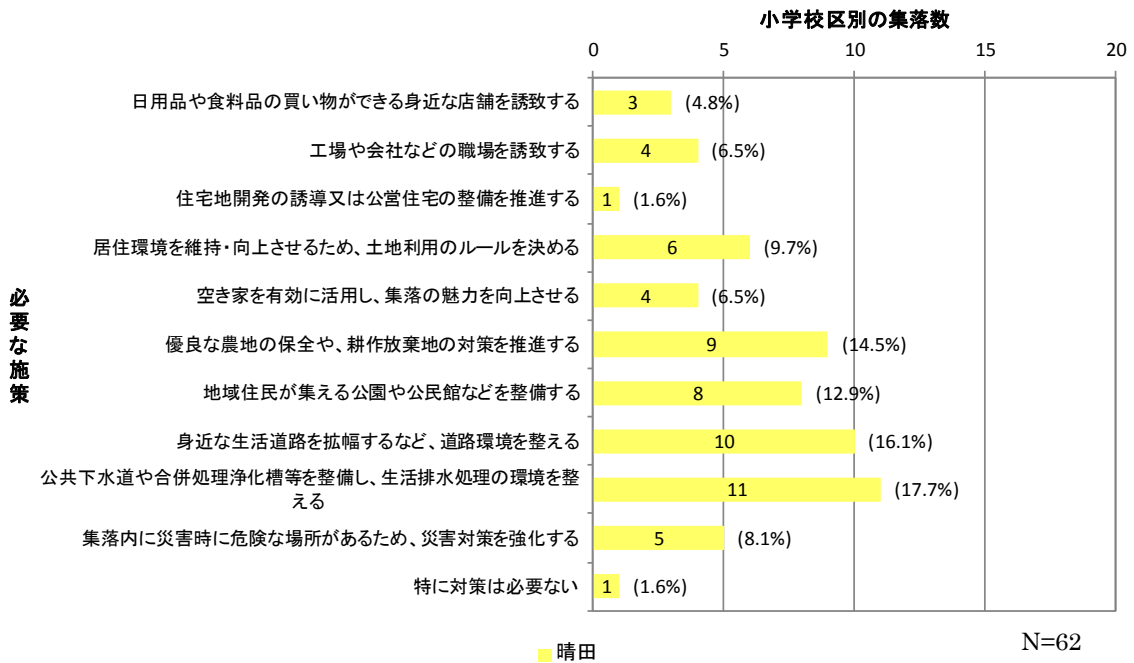
小学校 区名	集落名	意見
桜岡	布施ヶ里	構成員の高齢化
	小城本町	本庁舎が三日月町に位置すること
晴田	平原	高齢者増加に伴い、空き家が増加
	寺浦	街灯が少ない
	円光寺	高齢者家族の昼間の緊急時対応。近くは勤め人が多く留守が多い。
	郷の木	区内でも協調性に欠けている
	川原	河川、区内の水路の傷みがひどい
	西晴気	区に加入してない転入者がいる
	君ヶ坂	食料品及び買い物が大変
	米隈	高齢者が多く、後継ぎがない
	三里	各戸の子供たちが都会に就職し人口減になっている。
三日月	仁俣	街路灯が少ない
牛津	高柳	水害
砥川	砥川町	近い将来限界集落か？
芦刈	永田東北	救急車、消防車の乗り入れができない
	永田南	道幅が狭く救急車、消防車の乗り入れができない

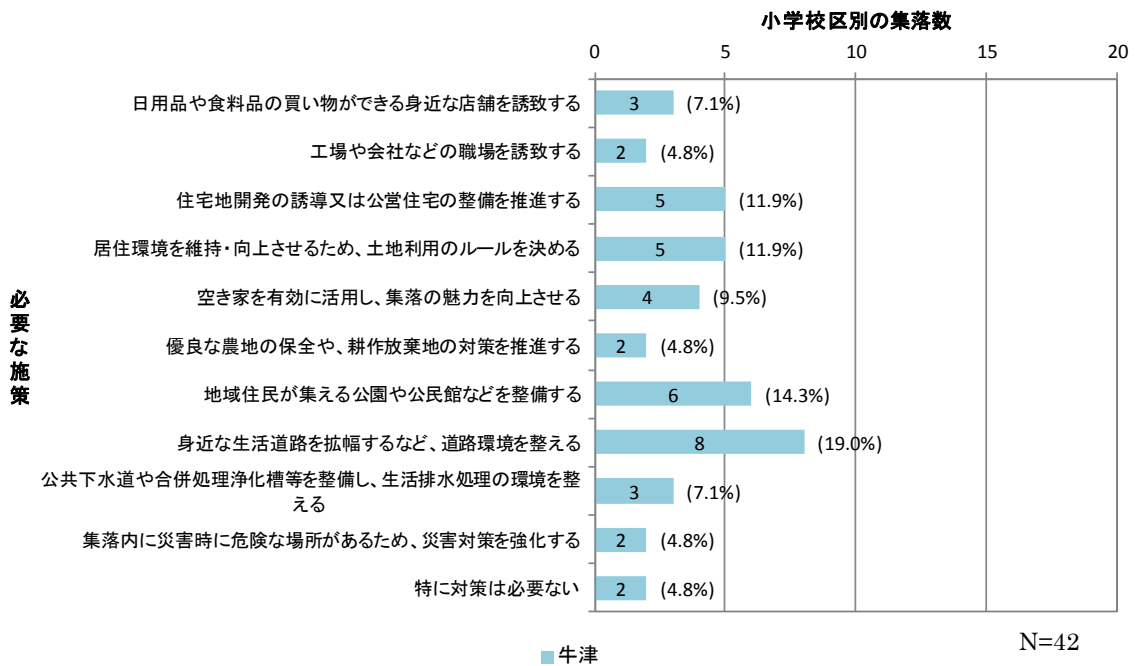
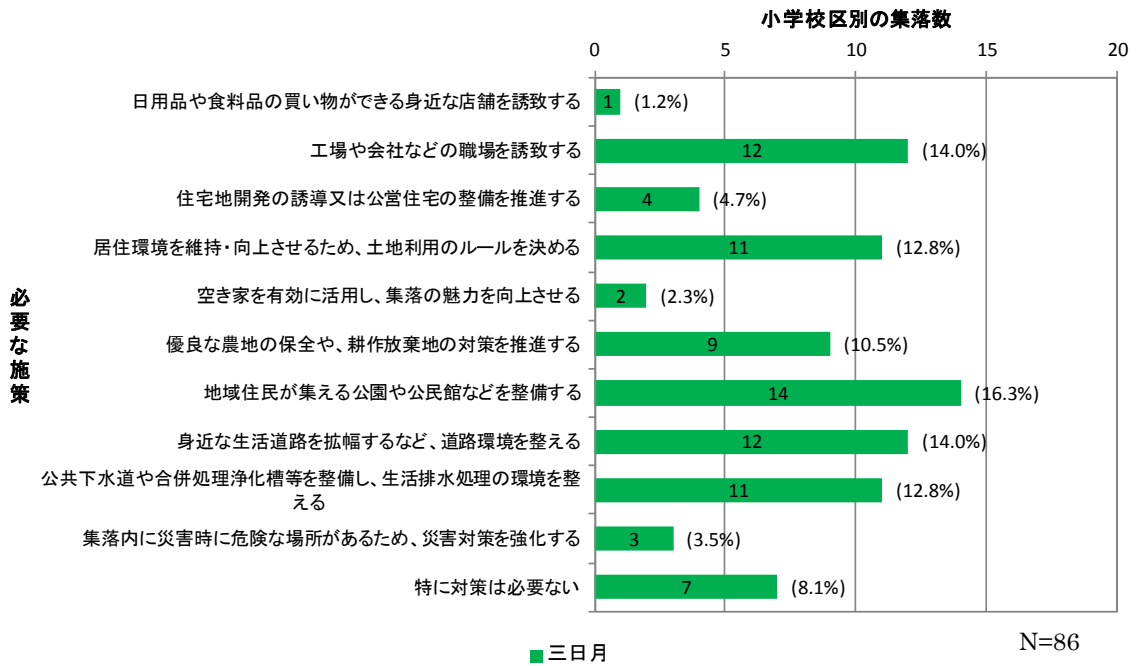
質問9 今後、あなたの集落内で必要な「土地利用や施設整備面での施策」は何と考えられますか。以下の選択肢から最大で3つ選び、○をしてください。また、選択肢以外にご意見がある場合、ページ下の自由記入欄にご記入下さい。
《あなた個人のご意見としてお答え頂いて結構です》

「身近な生活道路を拡幅するなど、道路環境を整える」(60票)が最も多く、次いで「公共下水道や合併処理浄化槽等を整備し、生活排水処理の環境を整える」(47票)、「優良な農地の保全や、耕作放棄地の対策を推進する」(50票)が多く、概ね、**質問8の不安以上の割合が高かった項目に関連する施策の割合が高い**ことが分かる。









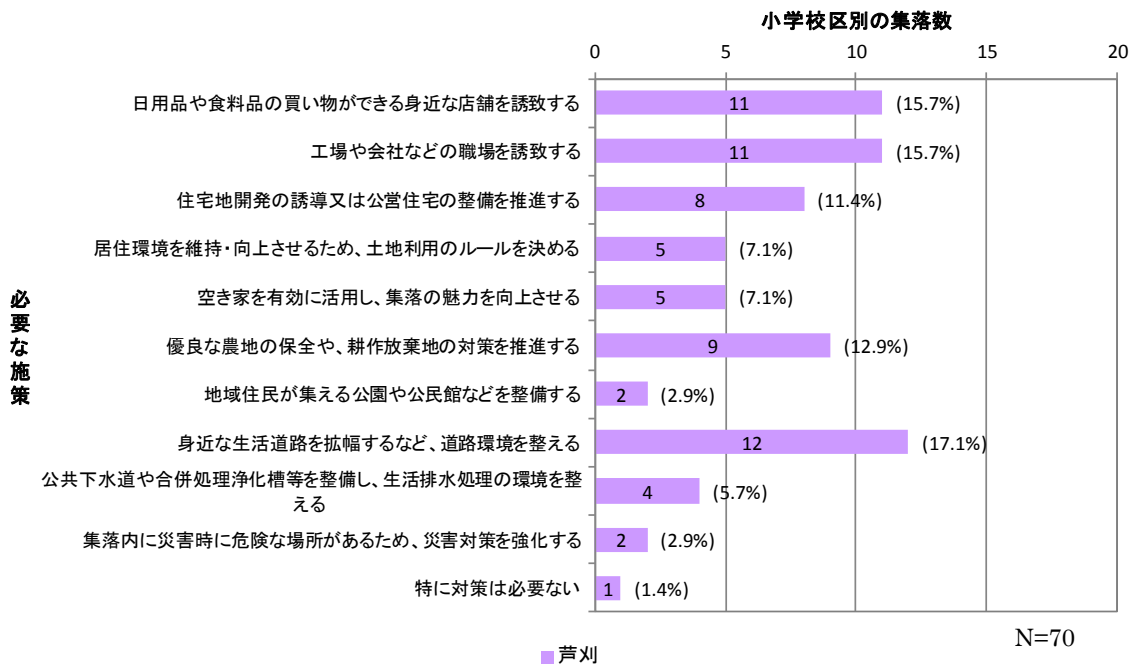
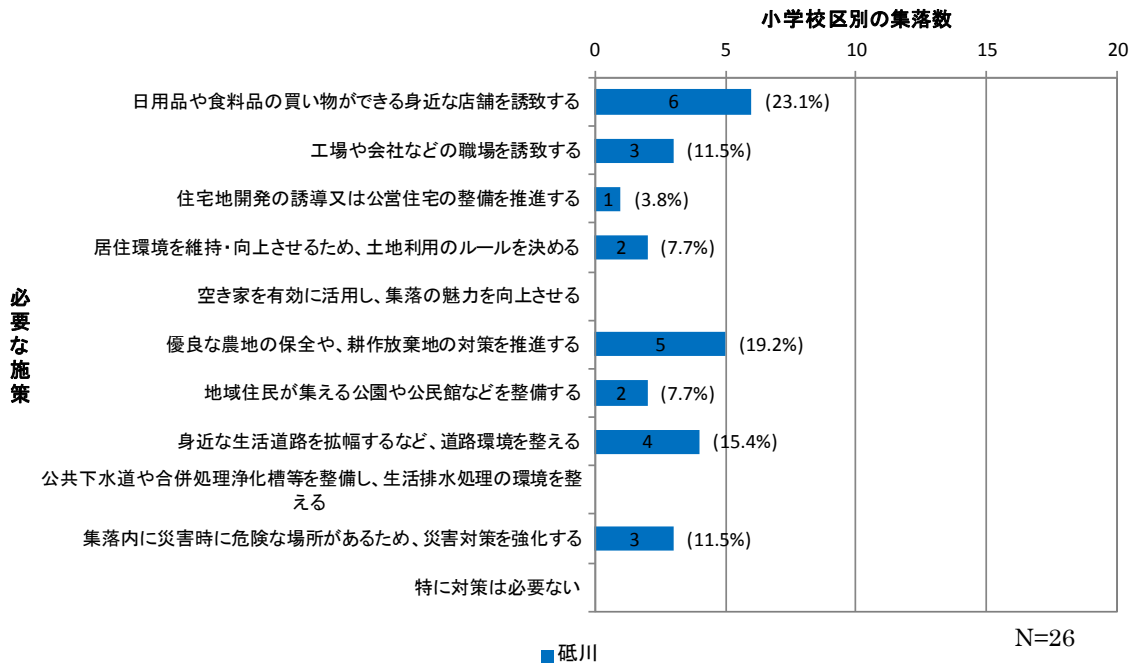


表 4-7 自由記入欄で得られた主な意見

小学校区	自由意見
桜岡	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小城駅近くに観光案内所がないこと、本町通りに公衆トイレが計画されていないこと、子供たちの遊び場が無いなどが問題だと思います。【施設整備】
岩松	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 上水道の整備を整えないと今よりずっと住みづらくなる恐れがある。【施設整備】 ▶ スマート・インター取付道路が現行の県道になると、小さい部落が東西に分断されるために部落としての機能がなくなってしまう。子ども達の通学路になっているため、交通事故等安全面から不安である。身近な生活道路環境を整えることは必要であるが、道路拡幅整備はしてもらいたくない。【道路・交通】 ▶ あとにもさきにも人口を増やすこと。また、地域住民が語る、学ぶ、大人のしゃべり場づくりが必要と思います。【コミュニティ】
晴田	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 鷲ノ原公民館から星巖寺そして山辺の道、運動公園跡地の平地にアスレチックの長椅子等を設置すれば、鳥栖の東公園、基山の運動公園、松浦市の不老山、嬉野市のみゆき公園に負けない、小城の娯楽施設になると思います。【施設整備】 ▶ 畑田交差点の改良工事を実施されており、南側の市道の交通量が増加すると思われるが、道幅が狭い上に、歩道が満足に設置されていない状況である。道幅の確保と県道への昇格を提案する。通学路なのでぜひ整備をお願いしたい。【道路・交通】 ▶ 203号の歩道（出分から西側）の整備が必要。【道路・交通】 ▶ 国道に安全な広い歩道がほしい。【道路・交通】 ▶ 昭和24年の大水害の後、河川整備をされてから50年以上を経ている。大きく傷んだ所を改修工事されているが、大雨の時は、どうなるかと心配する箇所が多数ある。県の管理と思いますが実態調査をお願いします。【防災】 ▶ 山林が非常に荒れており、地域では手の施しようがなく、市での対応を検討頂きたい。また、将来的に若い世代の家族が住みやすい環境・まちづくりのためのコミュニティ広場を建設し、魅力ある街をぜひ作ってほしい。【コミュニティ】
三里	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 三里地区においては農地法により住宅の整備が進まない。人口減少と高齢化が急激に進む中、他地区と同じような法的施策を検討してほしい。【土地利用】 ▶ 三里地区は人口の減少が進み、特に、子供の数は極端に少なくなっています。平成24年度より三里地区では居住に対する助成制度ができましたが、それよりも三里地区の農振除外を早く外すべきだと思います。【土地利用】 ▶ 初めて農地・水保全管理支払制度を申請しました。農地の保全・耕作放棄地の対策に力を入れ、部落の活力を協同作業による絆を深めていきたいと考えています。農地・水保全支払交付金制度が認可されることを願っています。【コミュニティ】
三日月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 下水道の早期の整備をお願いしたい。【施設整備】 ▶ 医療福祉施設の充実が必要である。【施設整備】 ▶ 本地区には公民館が東西に2つあるが、小さくてかなり古くなるので年間の修理等の維持費が多くなっている状況下にある。約30年前までは50世帯住んでいたのが今では100世帯を越え当時の2倍近くになっている。近々、公民館建設に向けた準備委員会が立ち上がりつつある。区民の全員同意が得られ建設となった場合、市当局からの援助・支援を賜りたい。【施設整備】 ▶ 県道上の道路整備を良くしてもらいたい。大型トラックが頻繁に通るため、道路がいたみ、轍ができていくところあり、振動で家が揺れたりする。【道路・交通】 ▶ 農業後継者が少なく、今後の農地管理問題に大変不安である。【コミュニティ】 ▶ 今、集落で最も問題なのは、自治会、団体、公の行事等（集団活動）が軽視されている点であり、ハード整備よりも集団活動に対する施策優先度は高いと考える。【コミュニティ】
牛津	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 店舗の誘致するのではなく店舗の充実を図ってもらいたい。【土地利用】 ▶ 市営住宅の雑排水の側溝への放流、破損している側溝等の環境が悪い。【施設整備】 ▶ 排水路（三日月1号排水路：三日月と牛津の排水路）ができて、豪雨による地域内低地の冠水懸念が大幅に減少して良かったとの声が多く出ている。【施設整備】 ▶ アイル、下水処理場、天山協働処理場、運動公園、牛津川、晴気川河川敷等（牛津揚水機場）のオープンスペースが集積しておりこれらを一体的、総合的に健康・福祉空間に活用していくことで身近に保健機能の向上が図れる。現状では個々限定的

	<p>かつ閉ざされた利用に留まっており各管理者が一同に会して有効活用策について協議の場を持つ必要がある。【施設整備】</p>
砥川	<p>▶ 子供達の働く場がないのが最大の問題だと思う。わが自治会もやがて限界集落となるでしょう。【土地利用】</p>
芦刈	<p>▶ 芦刈はここ 4~50 年自分が知るかぎり、一つの会社もできず店らしき店(スーパー)もなく。あまりにも、変わらなさすぎる。子育てには、良いかもしれないと思うが、会社やスーパーが出来てほしい。出来れば総合病院など。【土地利用】</p> <p>▶ 集落内のクレークが浅くなっているため防災面で特に不安である。火災の場合の防火用水の用をなさない水路が多い。泥土揚げ等、市の助成はできないか。クレークは泥土で埋まっている。【防災】</p> <p>▶ 堤防の改修の計画はあるが早くしてもらいたい。【防災】</p> <p>▶ 農地・水管理事業を私達住民で作業をするようになって川の景観も良くなり住民同士のコミュニケーションもできて良かったなあと思っています。【コミュニティ】</p>